

ユーザースガイド



Ver. 3.2.0
株式会社サン・プランニング・システムズ

本ガイドは、HACCP における文書化を行う人を対象に設計された、HACCP クリエータの機能および情報の定義方法を手順ごとに詳しく説明します。このユーザーズガイドは、フローダイアグラムの作成、HACCP に関する実用的な知識を有していることを前提としています。

フローダイアグラムの作成に関するガイドとしては、『iGrafx ヘルプ』をご覧ください。

本ユーザーズガイドの内容および関連する iGrafx FlowCharter ソフトウェアは、(株)サン・プランニング・システムズおよび iGrafx, LLC とそれぞれ該当するライセンサの所有物であり、著作権によって保護されています。許諾無く本ユーザーズガイドおよび関連ソフトウェアの全部または一部を複製することは、堅く禁止されています。

© Sunplanning Systems.Co.Ltd. All rights reserved.

iGrafx、iGrafx® FlowCharter®, iGrafx® Process™ および iGrafx® Process360Live ®は、カナダ、合衆国、および/またはその他の国々における、iGrafx, LLC および/またはその子会社の商標または登録商標です。HACCP クリエータは(株)サン・プランニング・システムズの商標です。Microsoft、Windows、および Excel は、合衆国および/またはその他の国々における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe と Acrobat Reader は、合衆国および/またはその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。その他の製品、フォント、および会社名とそのロゴは、それぞれ該当する会社の商標または登録商標である場合があります。

目次

第1章	HACCP クリエータの概要	7
1.	フローダイアグラム	7
2.	出力帳票	7
第2章	HACCP クリエータを使用する前に	8
1.	インストール時に保存されるもの	8
2.	HACCP フローテンプレート	8
2.1	テンプレートの構成	8
2.2	テンプレートの設定内容	9
2.3	マスターページ	9
2.4	HACCP フローテンプレートの使用準備	10
3.	ユーザーインターフェースを理解する	10
3.1	用語（ドキュメントと図表）	11
3.2	HACCP 文書作成に必要な項目	11
3.3	「メニュー」バー	11
3.4	「標準」ツールバー	11
3.5	「ツールボックス」ツールバー	12
3.6	エクスプローラ バー	12
3.7	「図形パレット」ウィンドウ	13
第3章	フローダイアグラムを作成する	15
1.	HACCP フローテンプレートを開く	16
2.	文書情報の入力	16
3.	製品名の登録	17
3.1	製品名の変更	17
3.2	製品名の追加	17
4.	ゾーニングの設定	17
5.	図形の配置	18
5.1	図形の種類	18
5.2	図形の配置手順	18
5.3	図形と図形を接続線で結ぶ方法	19
5.4	接続線で結ばれた図形を配置する方法	19
6.	「原材料」情報の入力	19
7.	「工程」情報の入力	20
8.	「危害」図形の配置	20
9.	「危害」情報の入力	21
10.	「検証」情報の入力	21
11.	属性コピー・属性貼り付け	22
12.	図形整列	23

第4章	HACCP メニュー	24
1.	文書情報.....	25
1.1	プロセス情報	25
1.2	「文書情報」タブ	26
1.3	「製品情報」タブ	27
1.4	「番号設定」タブ	27
1.5	ヘッダー情報の連携.....	28
2.	文書情報一覧.....	29
3.	図形情報一覧.....	30
4.	図形情報登録.....	31
4.1	「原材料」図形ダイアログボックス.....	31
4.2	「工程」図形ダイアログボックス.....	32
4.3	「危害」図形ダイアログボックス.....	33
4.4	「検証」図形ダイアログボックス.....	35
5.	外部リンク情報一覧.....	36
6.	リナンバリング.....	37
6.1	リナンバリング対象ナンバー	37
6.2	リナンバリングのルール	38
6.3	リナンバリング手順【自動番号付け】	38
6.4	リナンバリング手順【直接番号指定】	38
6.5	リナンバリング【選択】.....	40
7.	整合性チェック.....	43
7.1	エラーが検出されなかった場合	43
7.2	エラーが検出された場合	44
7.3	エラー事例.....	44
8.	帳票出力.....	44
8.1	「帳票出力」手順.....	44
9.	一括取込.....	54
9.1	利用イメージ	54
9.2	事前準備（出力帳票の内容更新）	55
9.3	「一括取込」手順.....	56
10.	辞書機能.....	57
10.1	辞書からの登録	57
10.2	辞書反映.....	58
11.	パターン一覧	59
11.1	パターンの作成方法	60
11.2	パターン名の変更方法.....	60
11.3	パターンの並び替え.....	61
11.4	パターンの削除方法	61

12. パターン別ライン設定	62
13. パターンライン一括登録.....	62
14. パターン強調表示.....	63
14.1 パターン強調表示（複数選択）	63
14.2 パターン強調表示の解除.....	64
14.3 パターン強調表示中に工程を追加する場合の注意事項	64
15. パターン別帳票出力	64
16. バージョン情報.....	65
16.1 バージョン情報の表示.....	65
16.2 配布ファイルの取込	65
第5章 付録	68
1. HACCP アドオンを一時的に無効にする.....	68
2. HACCP 図形集について	68
2.1 【HACCP】サブジェクト.....	69
2.2 【HACCP ヘッダー】サブジェクト.....	70
3. 出力帳票項目	71
3.1 「製品の特性」フォーマット	71
3.2 「工程管理表」フォーマット.....	72
3.3 「ハザード分析表」フォーマット	73
3.4 「ハザード管理プラン表」フォーマット	74
3.5 「ハザード管理プラン単票」フォーマット	74
3.6 「検証プラン」フォーマット	76
3.7 「QC 工程表」フォーマット.....	77

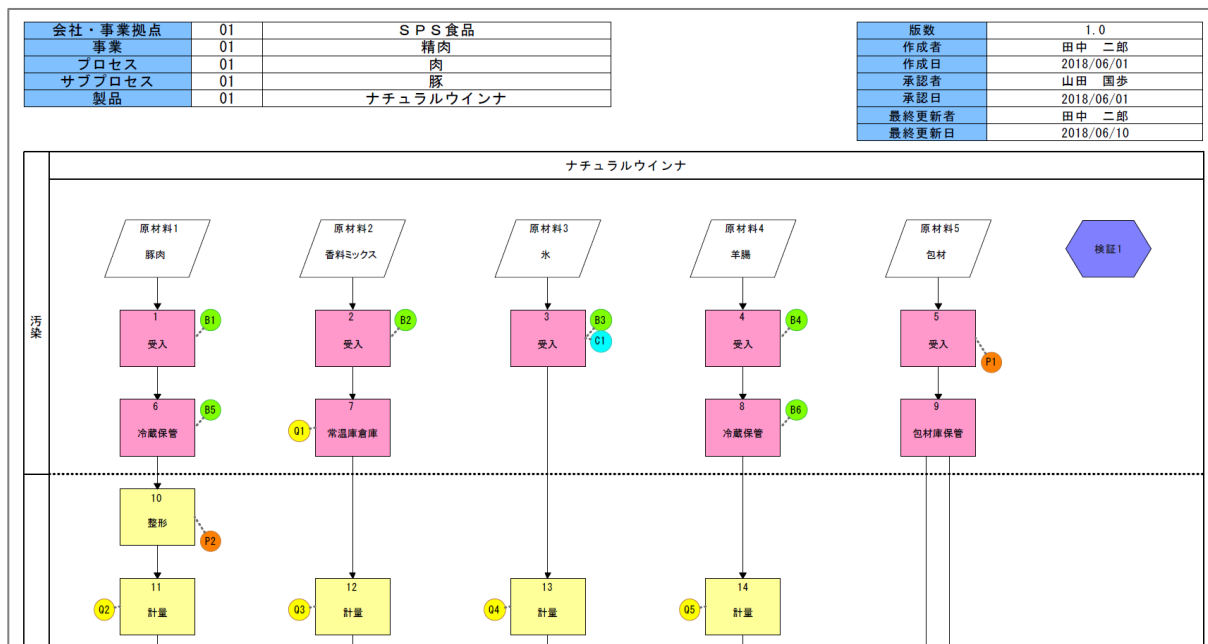
第1章 HACCP クリエータの概要

本書は、食品業界向け文書化支援ソリューション「HACCP クリエータ」の説明書です。「HACCP クリエータ」では、製造工程フローを作成し、各工程や危害の詳細などを記述することができます。記述した情報に基づいて、ハザード分析に関連する各種帳票を出力できます。

製造工程のフローは、「工程ダイヤグラム」「製造工程フロー」「フローチャート」などいろいろな呼び方がありますが、本書では、「フローダイヤグラム」と表現しています。
また、「HACCP クリエータ」で作成したドキュメントを「HACCP 文書」と呼びます。

1. フローダイヤグラム

HACCP クリエータで作成したフローダイヤグラムのサンプルです。



2. 出力帳票

HACCP クリエータでは、以下の 10 種類の帳票を出力することができます。



第2章 HACCP クリエータを使用する前に

ここでは、HACCP クリエータを利用する前に、準備しておいた方がいい事項や用語などについて説明します。

1. インストール時に保存されるもの

HACCP クリエータをインストールすると、以下のものが保存されます。HACCP 文書を作成するときにご利用ください。

項目	内容	使用方法
HACCP フローテンプレート	HACCP 文書時に利用できる雛型です。	Windows の「スタート」ボタン-「iGrafx」-「HACCP サンプル」内のテンプレートファイルを開き、保存して使用します。 ※詳細は「HACCP フローテンプレートの使用準備」P10 をご参照ください。
HACCP 原則 1 2 手順	HACCP の原則手順書です。	Windows の「スタート」ボタン-「iGrafx」-「HACCP サンプル」フォルダ
HACCP フローサンプル	HACCP 文書のサンプルです。 文書作成時の参考にしてください。	
図形集	HACCP 文書作成時に利用する図形が登録されています。	iGrafx を起動し、「図形パレットを開く」アイコンをクリック-「HACCP」の左側の「+」ボタンをクリック-「HACCP」を選択 ※詳細は「HACCP 図形集について」P68 をご参照ください。

2. HACCP フローテンプレート

2.1 テンプレートの構成

HACCP フローテンプレートの構成です。（ヘッダー部は印刷プレビュー時に確認できます。）

1) ヘッダー部

HACCP 文書の文書情報に入力した内容が自動表示されますので、フローダイアグラムを作成するときは意識せずに作業を進めることができます。

2) フロー部

iGrafx の機能を利用して Swimlane 機能を利用して「製品名」を明示できるようにしています。
また、フェーズ機能を利用してゾーニング（区域）が設定できるようにしています。

会社・事業拠点		版数	
事業		作成者	
プロセス		作成日	
サブプロセス		承認者	
製品		承認日	
		最終更新者	
		最終更新日	

製品名

ヘッダー部

フロー部

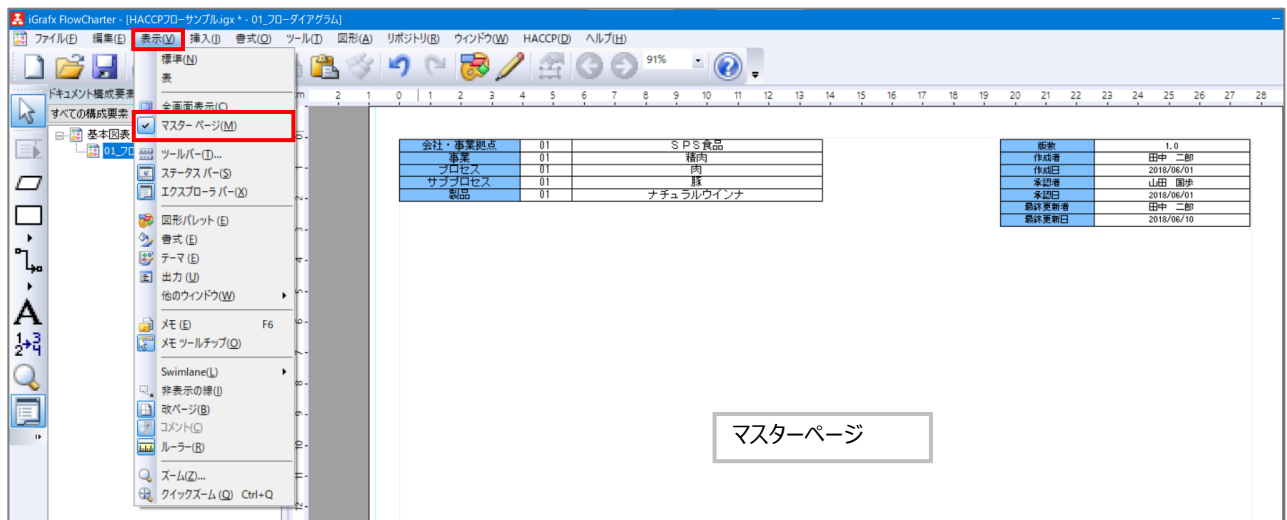
2.2 テンプレートの設定内容

基本図表の初期設定を HACCP 文書用に以下の通り変更しています。テンプレートは、必要に応じて変更してご利用いただけます。

機能名	タブ名	項目	設定内容
ページ設定	ページ	方向	縦
		スケール	70%
		用紙サイズ	A3
	フッター	中央セクション	ページ番号/ページ数
	オプション	ページネーション	ブックモード ページごとに Swimlane のヘッダーを印刷 ページごとにフェーズのヘッダーを印刷
図表の書式設定	ページ外コネクタ	自動コネクタ 共有接続先コネクタ 改ページを表示する ページ番号を含める	OFF ON ON ON
	接続線	結び目または交差	2 番目のスタイル
	ドキュメントのデフォルト	グラフィックの コールアウトの線	色：グレー スタイル：点線 (「危害」図形の紐付けを表す線の書式です。)
		Swimlane	フォント：Meiryo UI サイズ：12
		フェーズ	フォント：Meiryo UI サイズ：12

2.3 マスターページ

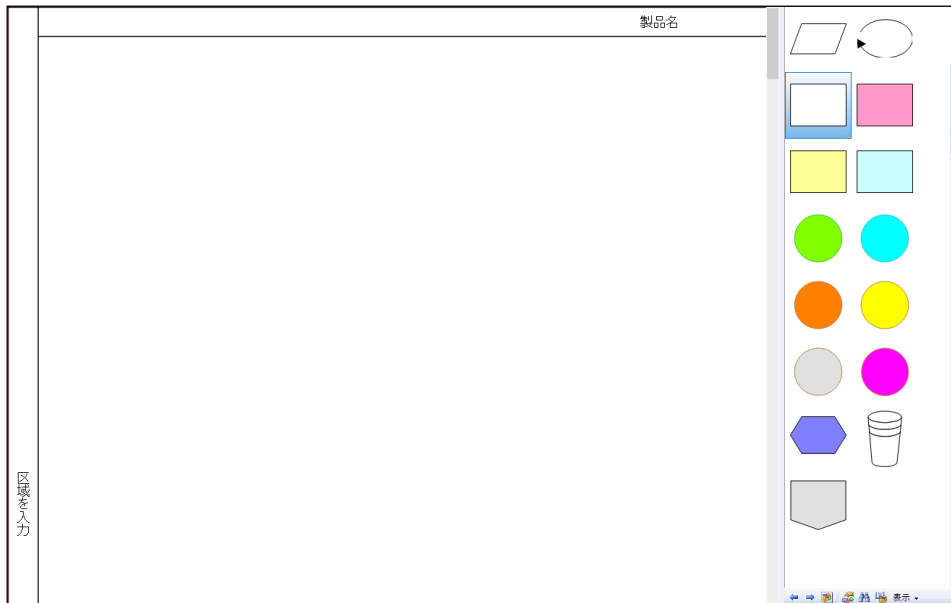
プレビューまたは印刷のときだけ有効な機能です。ヘッダー部に業務名称などを自動表示される設定が組み込まれています。「表示」メニューより「マスターページ」をクリックします。



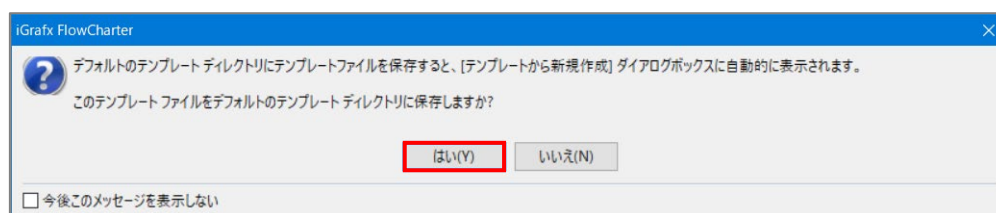
2.4 HACCPフローテンプレートの使用準備

iGrafx 起動時の「クイックスタート」ダイアログボックス、および「新規作成」ダイアログボックスより HACCP フローテンプレートが呼び出せるように設定します。

- ① Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「iGrafx」-「HACCP サンプルファイル」を選択します。
- ② 「Sample」フォルダが開きますので、「HACCP フローテンプレート.igt」をダブルクリックします。
- ③ 下記テンプレートが開きます。このとき、画面右側の「図形パレット」に「HACCP」「HACCP ヘッダー」という図形集が自動表示されます。



- ④ 「ファイル」メニューより、「名前を付けて保存」を選択し、「保存する場所」をデスクトップなど、任意の場所に変更します。
- ⑤ 「ファイルの種類」より「iGrafx テンプレート」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。
- ⑥ 以下のメッセージが表示されますので「はい」をクリックします。



- ⑦ 「ファイル」メニューより「閉じる」を選択し、サンプルテンプレートファイルを閉じます。

3. ユーザーインターフェースを理解する

HACCP クリエータは、iGrafx FlowCharter の作図機能を利用して、HACCP 文書を作成します。iGrafx FlowCharter の作図機能の詳細については、iGrafx ヘルプをご参照ください。

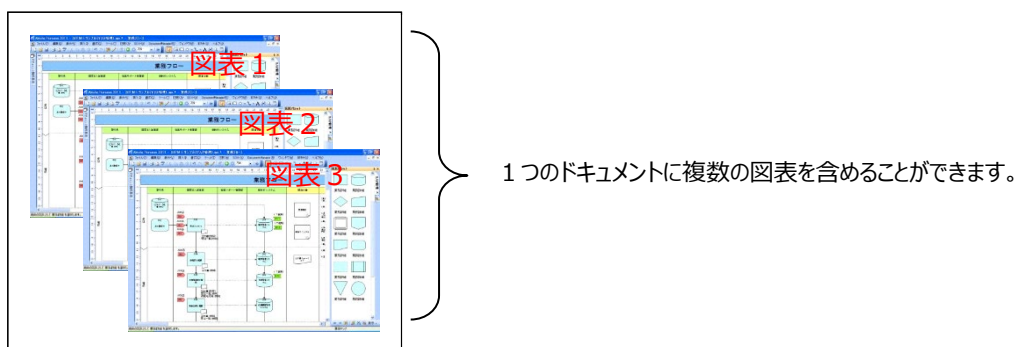
ユーザーインターフェースは、標準的な Windows アプリケーションとほぼ共通です。Windows を使い慣れた方であれば、すぐに作業を開始することができます。使用頻度の高いいくつかの項目を説明します。

3.1 用語（ドキュメントと図表）

本ガイドで利用されている【ドキュメント】と【図表】についての説明です。

項目	内容
ドキュメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメントとは図表を含むファイルです。 ・1つのドキュメントに複数の図表を含めることができます。 ・新規ドキュメントを作成すると、自動的に1つの図表が含まれています。
図表	<ul style="list-style-type: none"> ・図表とは、iGrafx の構成要素の一つです。 ・図形を配置または接続、グラフィック図形を描画することができます。 ・図表は、縦にも横にも複数ページにわたって作成することができます。 <p>どの単位を1図表にするかは、ユーザーが任意に決めて作成します。</p>

【ドキュメント】



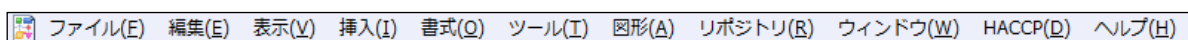
3.2 HACCP文書作成に必要な項目

1枚のHACCP文書は、1つの図表です。図表ごとにHACCP文書を作成する際に、「図表識別」「会社・事業拠点ID」「事業ID」「プロセスID」「サブプロセスID」「製品ID」などを登録します。「図表識別」は必須です。

HACCP文書は、「図表識別」によって識別されます。

事前準備として、対象文書に各IDを付番し、担当者に周知すると、その後の作業が進めやすいです。

3.3 「メニュー」バー



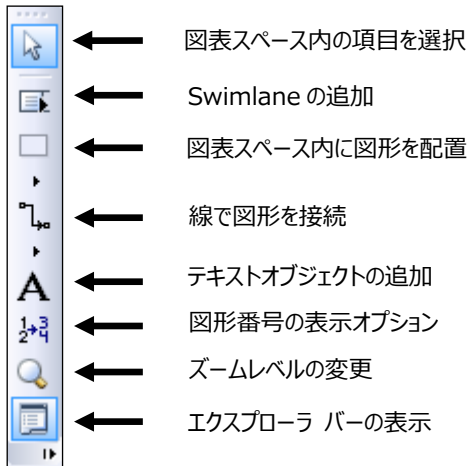
「ファイル」「編集」などのメニュー項目を選択し、メニューバーのメニューからコマンドを選択します。

3.4 「標準」ツールバー



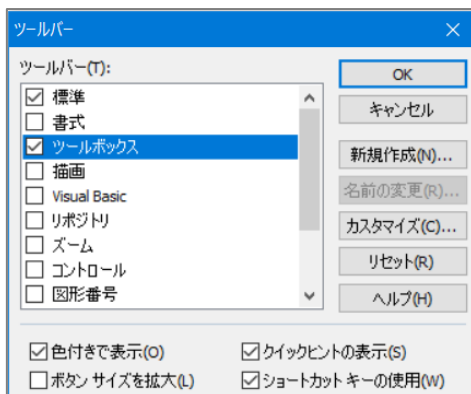
「標準」ツールバーには、「ファイルを開く」「印刷する」「書式をコピーする」「表示図表を切り替える」「図形パレットを開く」などの操作を行うためのアイコンがあります。

3.5 「ツールボックス」ツールバー



「ツールボックス」ツールバーが表示されていない場合は、以下の手順で開いてください。

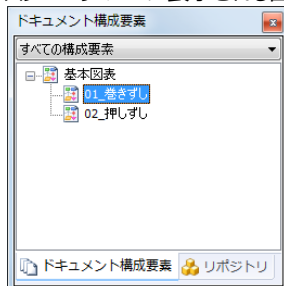
- ① 「表示」メニューの「ツールバー」コマンドをクリックします。
- ② 「ツールバー」ダイアログボックスが表示されます。「ツールボックス」を選択し「OK」ボタンをクリックします。



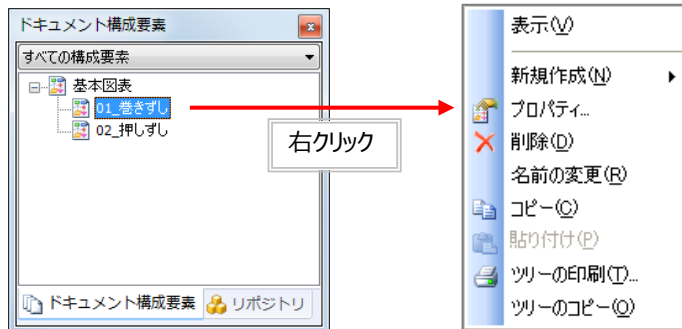
3.6 エクスプローラ バー

「エクスプローラ バー」では、ドキュメントの構成要素の管理と操作を行います。エクスプローラ バーはサイズ変更ができ、アプリケーションウィンドウの上下左右に移動して表示することができます。初期設定では、アプリケーションの左側に表示されます。

エクスプローラ バーに表示される図表は、名前順です。



エクスプローラ バー上で右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



上図、「01_巻きずし」の図表名称の変更手順

- ① 「01_巻きずし」を選択後、右クリックします。
- ② コンテキストメニューが表示されます。
- ③ 「名前の変更」を選択し、入力モードに変わったら、名称を直接変更します。

エクスプローラ バーのコンテキストメニューより、以下の操作ができます。

項目	用途
表示	選択している構成要素を表示します。
新規作成	新しい構成要素を作成できます。
プロパティ	選択している構成要素のプロパティを表示します。
削除	選択している構成要素を削除します。
名前の変更	選択している構成要素の名称を変更します。
コピー	選択している構成要素をコピーします。
貼り付け	クリップボードにある内容を構成要素として貼り付けます。
ツリーの印刷	ツリーを印刷します。
ツリーのコピー	ツリーをコピーします。

3.7 「図形パレット」ウィンドウ

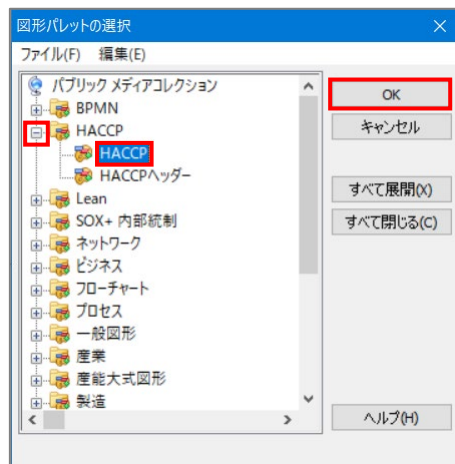
利用する図形集を表示できます。HACCP フローテンプレートを利用している場合、自動的に「図形パレット」ウィンドウに「HACCP」図形が表示されます。「図形パレット」ウィンドウが開いていないときは、以下の手順で開きます。

◆ 「図形パレット」ウィンドウの表示方法

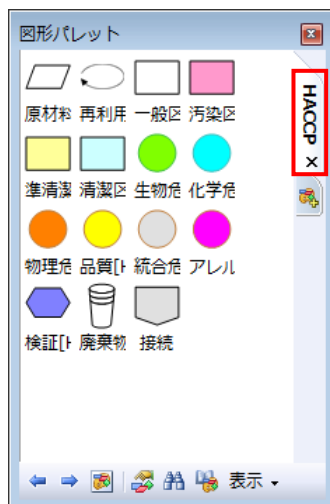
- ① 「標準」ツールバーの「図形パレットを開く」アイコンをクリックします。



② 「HACCP」の左側の「+」ボタンをクリックし、さらに「HACCP」を選択します。



③ 「図形パレット」ウィンドウに「HACCP」図形が表示されます。

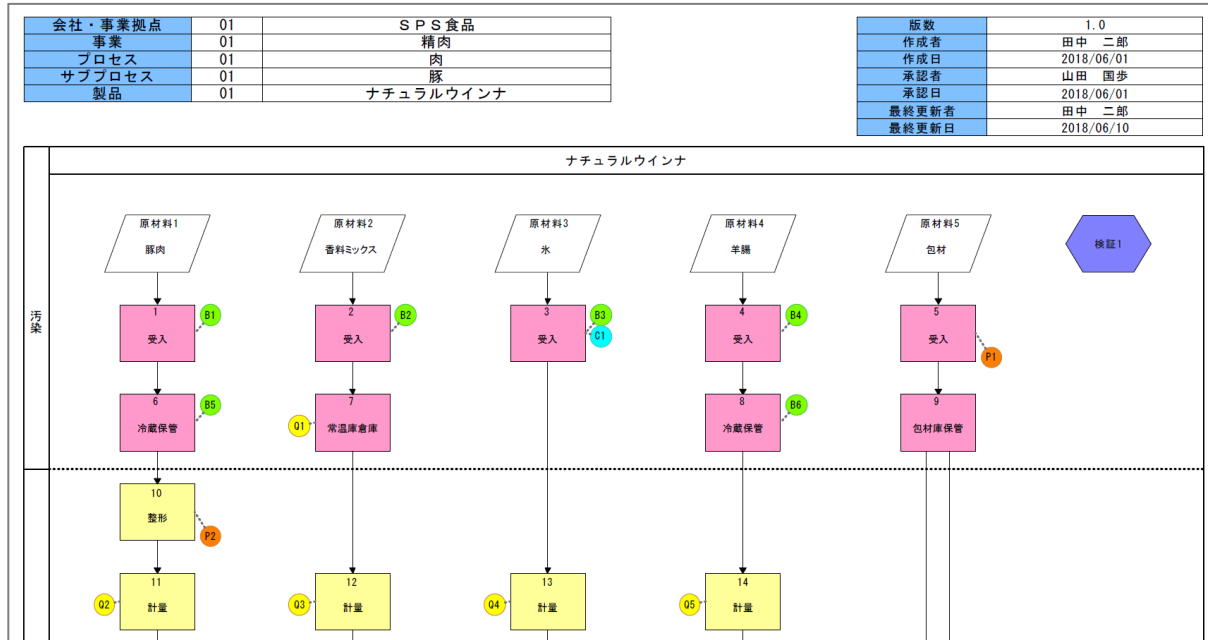


第3章 フローダイアグラムを作成する

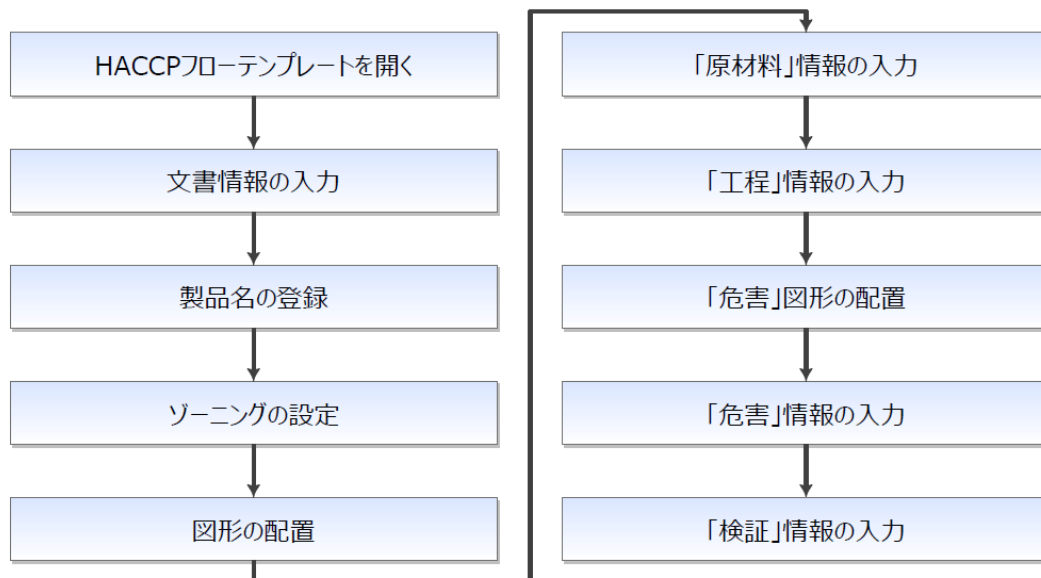
HACCP クリエータでは、フローダイアグラムを作成するためのテンプレート（雛型）とフローダイアグラム作成時に利用できる専用図形が準備されています。

HACCP フローテンプレートを利用し、以下のサンプルフローを作成する場合を例にして、フローダイアグラムの作成手順を説明します。

【サンプルフロー】

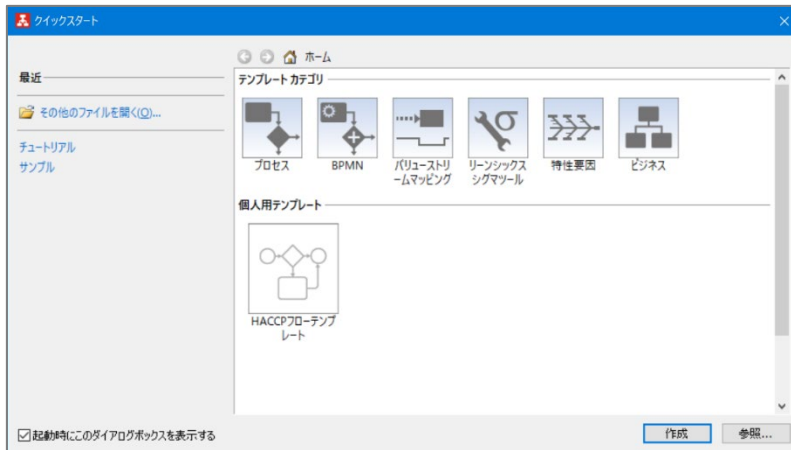


HACCP クリエータにおける文書作成手順は、おおよそ以下の通りです。



1. HACCP フローテンプレートを開く

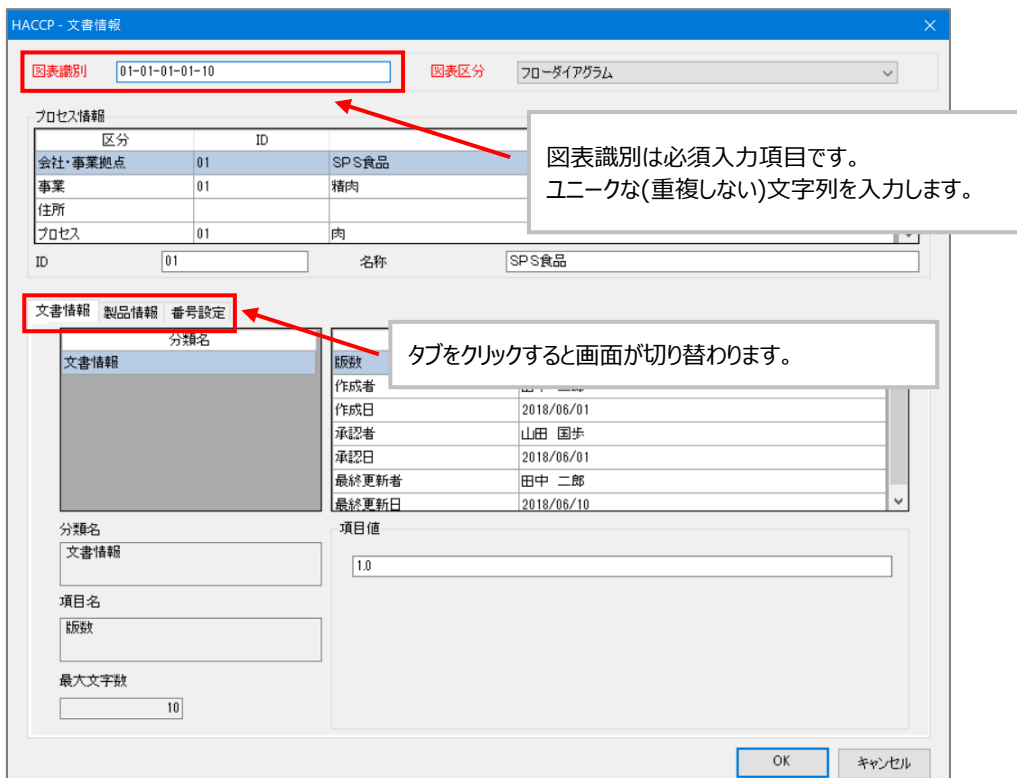
- ① iGrafx を起動し、「クイックスタート」ダイアログボックスの「個人用テンプレート」より「HACCP フローテンプレート」を選択します。
または、「ファイル」メニューより「新規作成」を選択し、「新規作成」ダイアログボックスの「個人用テンプレート」より「HACCP フローテンプレート」を選択します。



- ② 「ファイル」メニューより「名前を付けて保存」を選択し、適切な名前を付けて保存します。

2. 文書情報の入力

「HACCP」メニューより「文書情報」を選択し、製品に関する情報を登録します。



図表識別は必須入力項目です。
ユニークな(重複しない)文字列を入力します。

タブをクリックすると画面が切り替わります。

区分	ID	
会社・事業拠点	01	SPS食品
事業	01	精肉
住所		
プロセス	01	肉

ID	名称
01	SPS食品

作成者	作成日
	2018/06/01
承認者	承認日
山田 国歩	2018/06/01
最終更新者	最終更新日
田中 二郎	2018/06/10

項目値
1.0

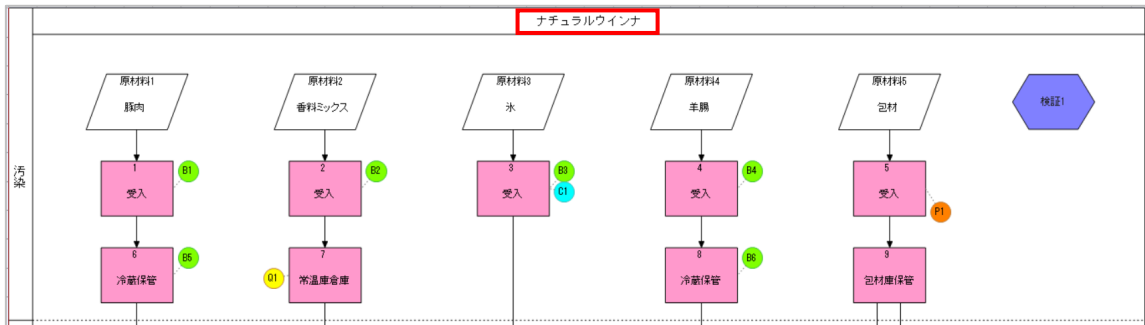
分類名
文書情報

項目名
版数

最大文字数
10

3. 製品名の登録

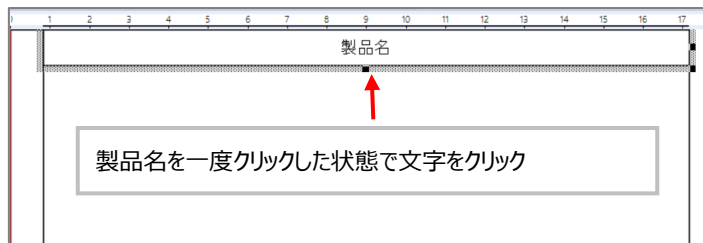
テンプレート上には、「製品名」という一つの仮の製品名が登録されています。製品名は、iGrafx の Swimlane 機能を利用しています。



3.1 製品名の変更

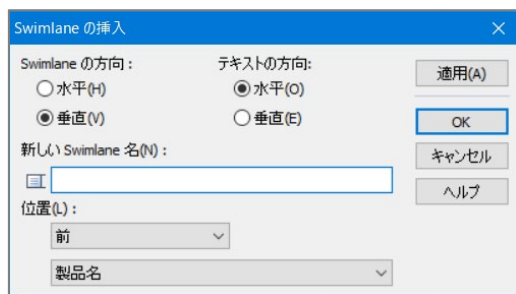
製品名をクリックすると選択枠が表示されます。

選択状態で文字をクリックすると文字入力カーソルが入りますので製品名を編集します。



3.2 製品名の追加

「挿入」メニューから「Swimlane 部門」を選択し、「Swimlane の挿入」ダイアログボックスを表示し、追加する製品名を登録します。



4. ゾーニングの設定

フェーズ機能を利用してゾーニング（区域）が設定できるようにしています。

- ① 「挿入」メニューから「フェーズ」を選択します。
- ② ゾーニングの枠に垂直な線（まだグレーで確定されていない線）が表示されます。
- ③ フェーズを挿入したい場所でクリックします。
- ④ 「フェーズ」領域をクリックして「ゾーン名」を登録します。

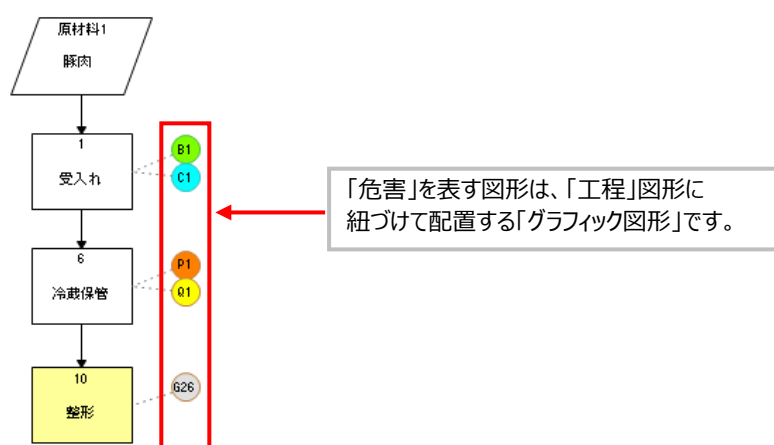
5. 図形の配置

5.1 図形の種類

HACCP クリエータが準備している図形には、「図形」と「グラフィック図形」の 2 種類あります。

図形の種類によって、配置方法が異なります。

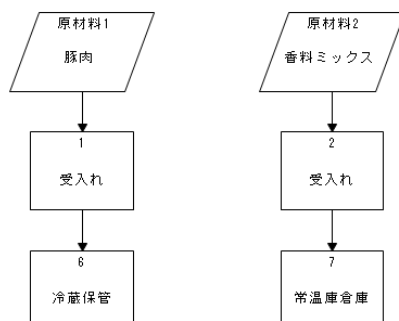
種類	用途
図形	「危害」図形以外は、すべて「図形」です。図形と図形を接続線で結ぶことができ、工程の順番を表現するときに利用します。
グラフィック図形	「危害」図形は、すべて「グラフィック図形」です。危害の想定される工程に紐づけて配置します。



5.2 図形の配置手順

「原材料」「再利用・アウトソース」「工程」「検証」「廃棄物」「接続」図形は、以下の手順で配置します。

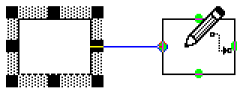
- ① 「図形パレット」で配置する図形をクリックします。
- ② 図形を配置したい位置でクリックします。
- ③ 配置した図形の中央をクリックし、工程の名称を入力します。



 テンプレートを開くと、「図形パレット」が開き、HACCP 図形が表示されます。
「図形パレット」が表示されない場合は、「標準」ツールバーの「図形パレットを開く」アイコンをクリックし、「HACCP」を選択してください。

5.3 図形と図形を接続線で結ぶ方法

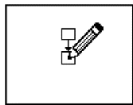
接続線の始点となる図形の上にマウスポインタを合わせ、線の終点となる図形に向かってドラッグします。



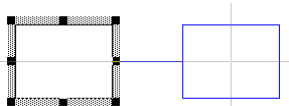
 「検証」は、接続線を結ばずに単独で配置します。

5.4 接続線で結ばれた図形を配置する方法

「図形パレット」の図形をクリックし、接続線の始点となる図形の内側にマウスポインタを合わせ、配置/接続ポインタを表示します。



ドラッグを始めるとマウスポインタの形が変わり、図形の輪郭と移動ポインタが表示されます。始点となる図形から新しい図形の配置場所に向かってドラッグします。



6. 「原材料」情報の入力

「原材料」図形をダブルクリックしてダイアログボックスを表示し、材料の詳細を入力します。
図形を配置したときに自動採番されたナンバーは、編集できます。



項目名	項目値
生物、化学、物理的特性	豚肉
添加物、加工助剂を含む成分	
由来	神奈川の農畜家グループ「水曜会」から(資料提供)
原産地	農畜家→神奈川県内で屠畜、カット肉、トミンク
製造方法	プラスチック容器入り、自社冷蔵庫での冷却(取り)
包装及び配送方法	至急(冷蔵、冷蔵(後4日以内)の使用)
保管条件及びリサイクルライフ	

①入力項目を選択します。

②選択した項目の値を入力します。

7. 「工程」情報の入力

「再利用・アウトソース」「一般区域」「準清潔区域」「清潔区域」「汚染区域」図形のダイアログボックスの内容は共通です。「工程」図形をダブルクリックしてダイアログボックスを表示し、工程の詳細を入力します。
図形を配置したときに自動採番されたナンバーは、編集できます。

1 受入れ

21 リワーク

ダブルクリック

HACCP - 工程

前工程 既内

1 受入

登録グループID

登録番号

手続

管理担当者は原材料(既内)の受け入れを行う。

拡大

工程管理 付帯図形

分類名

項目名

項目値

管理項目

管理基準

測定方法

要求事項

記録

検出

管理部門

貯蔵 異物

目視・顕微鏡

検出記録

落下塵検査

分類名

工程管理

項目名

担当

最大文字数

800

OK

キャンセル

① 工程の詳細を入力します。

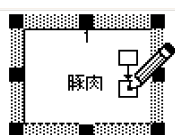
② 入力項目を選択します。

③ 選択した項目の値を入力します。

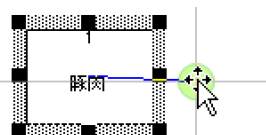
8. 「危害」図形の配置

「危害」を表す図形は、すべてグラフィック図形です。危害が想定される工程を表す図形に紐付けて配置します。

- ① 「図形パレット」から配置する「危害」図形をクリックします。
- ② 「危害」図形を紐づける図形の中央にマウスポインタを置き、配置／接続ポインタを表示します。



- ③ 配置する場所までマウスポインタをドラッグします。ドラッグを始めるとマウスポインタの形が変わり、図形の輪郭と移動ポインタが表示されます。視点となる図形から「危害」図形の配置場所に向かってドラッグします。



- ④ 自動的に危害ナンバーが採番されます。



9. 「危害」情報の入力



「生物危害」「化学危害」「物理危害」「品質」「統合危害」「アレルギー-危害」図形のダイアログボックスの内容は共通です。
「危害」図形をダブルクリックしてダイアログボックスを表示し、ハザードの詳細を入力します。
図形を配置したときに自動採番されたナンバーは、編集できます。

①ハザードの詳細を入力します。

②入力項目を選択します。

③選択した項目の値を入力します。

The screenshot shows the "HACCP - 生物危害" dialog box. It includes fields for "工程名" (Process Name) and "B" (Hazard ID). Below these are tabs for "8.5.2.1 ハザードの特定", "8.5.2.2 ハザード評価", "8.5.2.3 ハザード管理手段の選択及び分類", "8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定", "8.5.4.3 モニタリングシステム", and "8.5.4.4 許容限界及び処置基準". The "8.5.2.3" tab is active, showing a list of hazard management measures. A red box highlights the "8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段" section, and another red box highlights the "項目値" (Item Value) input field.

10. 「検証」情報の入力

「検証」図形をダブルクリックしてダイアログボックスを表示し、検証の詳細を入力します。
図形を配置したときに自動採番されたナンバーは編集できます。



①入力分類を選択します。

②入力項目を選択します。

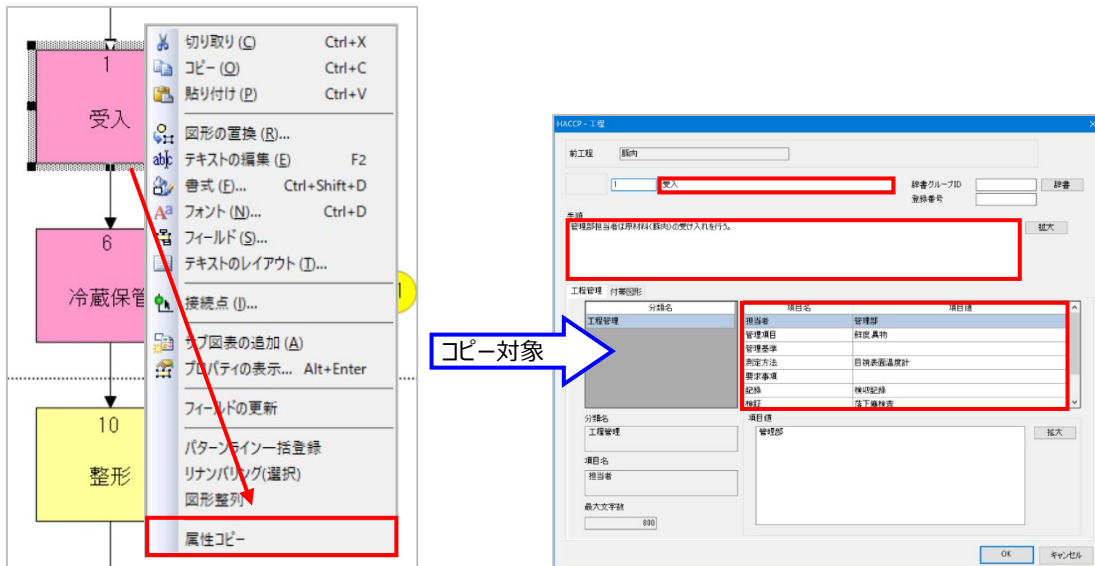
③選択した項目の値を入力します。

The screenshot shows the "HACCP - 検証" dialog box. It includes fields for "検証" (Verification) and "検証" (Verification ID). Below these are tabs for "8.8.1 検証". The "8.8.1" tab is active, showing a list of verification methods. A red box highlights the "a) PRPの実施確認" section, and another red box highlights the "項目値" (Item Value) input field.

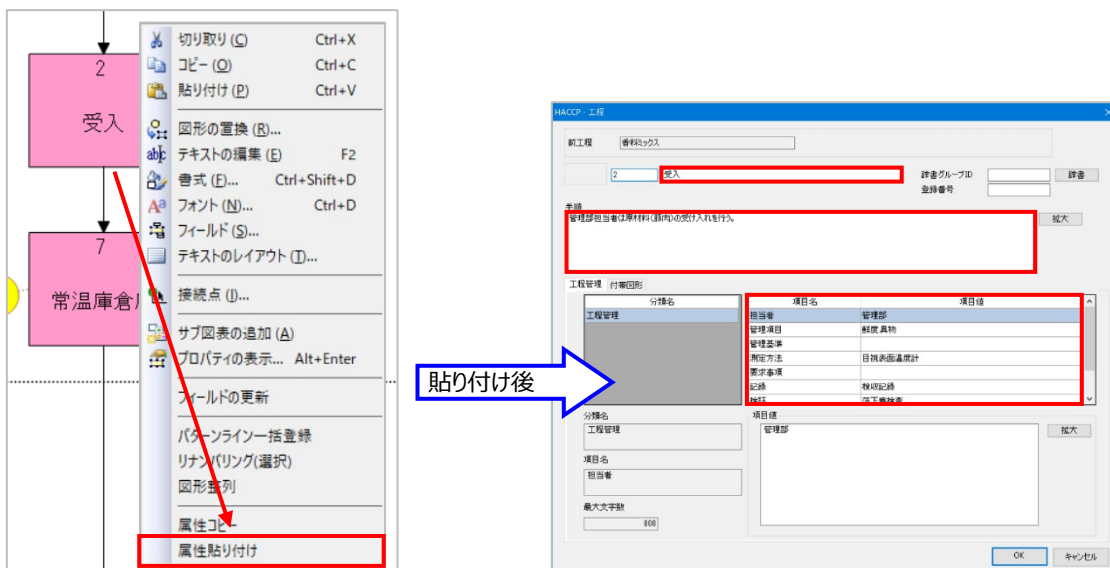
11. 属性コピー・属性貼り付け

図形内に登録されている属性（図形番号以外）をコピーして、同じ種類の図形に貼り付けることができます。
工程図形以外（原材料・危害・検証図形）でも属性コピー・属性貼り付けができます。

① 対象となる図形を選択した状態で右クリックし、メニューの「属性コピー」をクリックします。



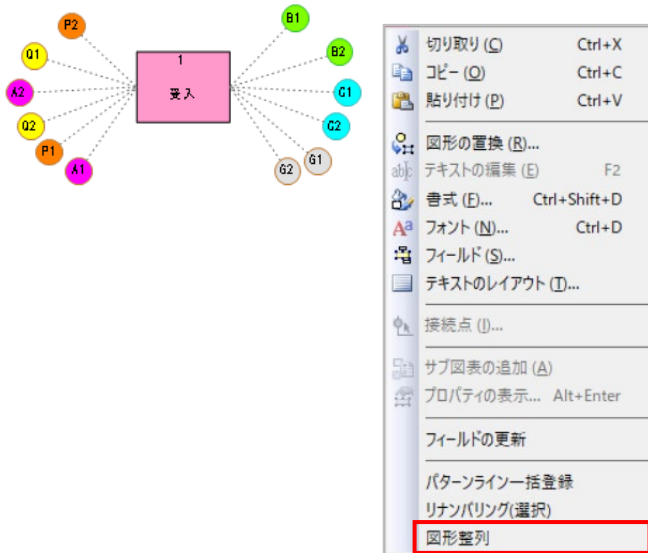
② 貼り付け対象となる同じ種類の図形を選択し、右クリックで「属性貼り付け」をクリックします。貼り付け対象の図形が複数の場合、すべての図形に属性が貼り付けされます。属性の貼り付け後は属性を元に戻すできません。



12. 図形整列

「工程」図形に紐づく「危害」図形の位置を整列します。
「工程」図形を複数選択し、まとめて整列することができます。

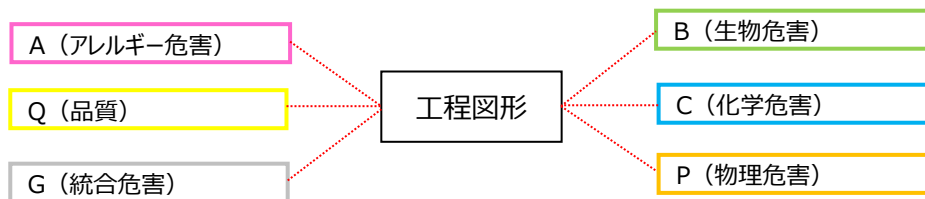
① 対象となる「工程」図形を選択した状態で右クリックし、メニューの「図形整列」をクリックします。



② 「工程」図形に紐づけられている「危害」図形が自動的に整列します。

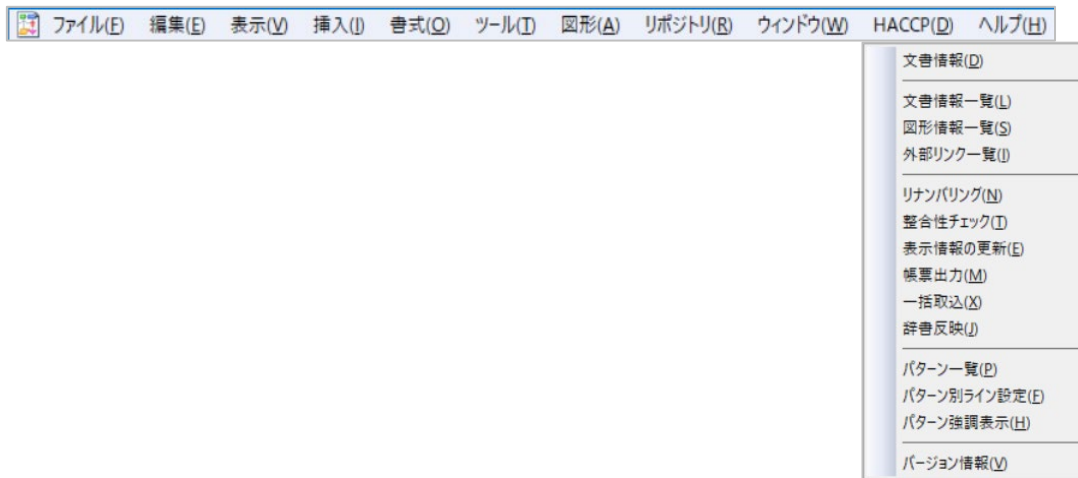


図形整列時は以下のように危害図形を配置します。



第4章 HACCP メニュー

HACCP クリエータをインストールすると、iGrafx FlowCharter のメインメニューに「HACCP」メニューが追加されます。この章では、「HACCP」メニューについて説明します。



 開いている文書の「図表識別」が重複している場合、また図表識別が空白の場合は「帳票出力」「一括取込」機能がグレーアウトされて選択できません。

【機能概要一覧】

HACCP メニュー	機能
文書情報	HACCP 文書の情報の登録・変更を行います。
文書情報一覧	開いている HACCP 文書が一覧で表示されます。 一覧から、「文書情報」ダイアログボックスを表示できます。
図形情報一覧	図表に配置されている図形が一覧で表示されます。 一覧から「図形情報」ダイアログボックスを表示できます。
外部リンク一覧	図表に設定されている外部リンク情報が一覧で表示できます。
リナンバリング	各図形ナンバーのリナンバリング（番号振り直し）を行います。
整合性チェック	開いている HACCP 文書の各種チェックを行います。
表示情報の更新	図表に表示されている情報を更新する機能です。 HACCP クリエータでは有効な機能ではありません。 「HACCP」メニューから選択できますが、実行しないでください。
帳票出力	HACCP 文書から帳票を出力します。
一括取込	各帳票から、「文書情報」や各図形に情報を取り込みます。
辞書反映	HACCP クリエータ管理者キットにて設定した辞書内容を反映します。
パターン一覧	図形をグループ化するためのパターン名一覧が表示されます。 パターン名の追加・変更・削除ができます。
パターン別ライン設定	パターンごとにグループ化する図形を設定します。
パターン強調表示	フロー上で強調表示するパターンを設定します。
バージョン情報	HACCP クリエータのバージョン情報が表示されます。 配布ファイルの取込・初期化を行います。

1. 文書情報

HACCP 文書（図表）の基本的な情報を入力します。「図表識別」コード、図表が属する「会社」「事業」「住所」「プロセス」「サブプロセス」「製品」の ID や名称などをはじめとする、HACCP 文書についての情報を入力します。
「HACCP」メニューより「文書情報」を選択すると、「文書情報」ダイアログボックスが表示されます。

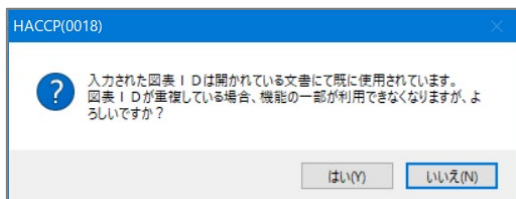
1.1 プロセス情報

「図表識別」は、必須入力項目です。「図表識別」によって個々の図表が識別されます。
他の図表と重複しないユニークな文字列を入力します。

項目名		内容	文字数
図表識別 ※必須入力項目		作成文書を識別できる一意のコードを入力します。 「図表識別」が同一の図表を含む他のファイルを同時に開いた場合、 重複のアラート画面が表示されます。	20 字
図表区分		「フローダイアグラム」が選択されています。	
プロセス 情報	会社	ID：会社 ID を入力します。 名称：会社名を入力します。	10 字 30 字
	事業	ID：事業 ID を入力します。 名称：事業名を入力します。	10 字 30 字
	プロセス	ID：プロセス ID を入力します。 名称：プロセス名を入力します。	10 字 30 字
	サブプロセス	ID：サブプロセス ID を入力します。 名称：サブプロセス名を入力します。	10 字 30 字
	製品	ID：製品 ID を入力します。 名称：製品名を入力します。	10 字 30 字

「図表識別」が未記入の場合、以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックした後、図表識別を入力してください。

同じ「図表識別」を持つ HACCP 文書を開いた場合に以下のメッセージが表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると、「文書情報」ダイアログボックスが閉じます。修正が必要な文書の図表識別を修正してください。

1.2 「文書情報」タブ

「文書情報」タブには、「版数」「作成者」「作成日」「承認者」「承認日」「最終更新者」「最終更新日」などの情報を登録できます。これらの情報は自動更新されませんので、運用ルールを決めて各情報の更新をしてください。

項目名	内容	文字数
版数	版数を入力します。	10 字
作成者	作成者を入力します。	10 字
作成日	作成日を入力します。	10 字
承認者	承認者を入力します。	10 字
承認日	承認日を入力します。	10 字
最終更新者	最終更新者を入力します。	10 字
最終更新日	最終更新日を入力します。	10 字

1.3 「製品情報」タブ

「製品情報」タブには、最終製品の「組成」「生物、化学、物理的特性」「シェルフライフ及び保管条件」「包装」「表示、取扱、調整、使用法」「配送方法」「意図した用途」が登録できます。

①タブを選択します。

②入力項目を選択します。

③選択した項目の値を入力します。

項目名	内容	文字数
組成	文章で入力します。	1000 字
生物、化学、物理的特性	文章で入力します。	1000 字
シェルフライフ及び保管条件	文章で入力します。	1000 字
包装	文章で入力します。	1000 字
表示、取扱、調整、使用法	文章で入力します。	1000 字
配送方法	文章で入力します。	1000 字
意図した用途	文章で入力します。	1000 字

1.4 「番号設定」タブ

「番号設定」タブでは、HACCP フローダイアグラムに「原材料」「工程」「検証」「危害」図形を配置したときに付番される各番号の基点ナンバーを設定します。

①タブを選択します。

②ナンバーをダブルクリックして値を入力します。

例えば、同一ファイル内に前工程と後工程を別図表で作成する場合、前工程は 100 番からスタートし、後工程は 200 番から付番するなど、両者の図表の工程の開始番号を個々に設定できます。

項目名	内容	文字数
ナンバー	選択した図形を配置したときに付番される基点ナンバーを入力します。	4 字

1.5 ヘッダー情報の連携

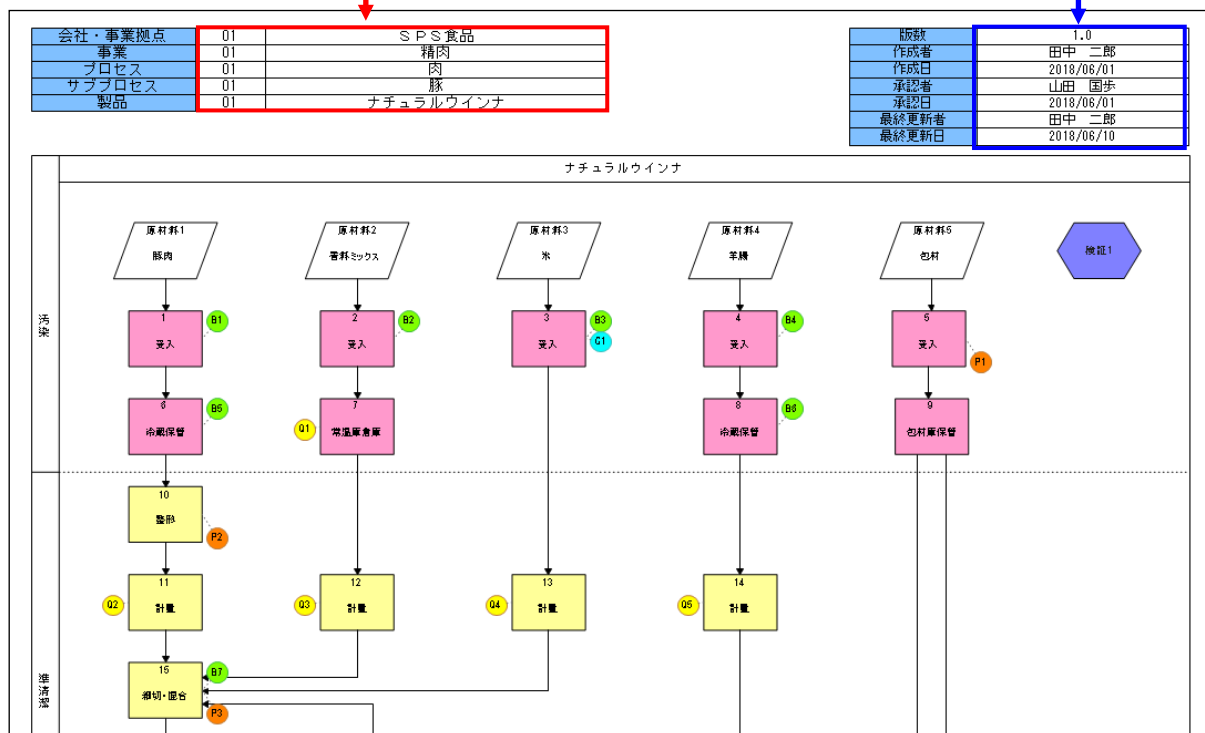
文書情報の「プロセス情報」および「文書情報」タブで入力した情報は、フローダイアグラム上のヘッダー部分に表示されます。

【文書情報】ダイアログボックス

区分	ID	名称
会社・事業拠点	01	SPS食品
事業	01	精肉
プロセス	01	肉

項目名	項目値
版数	1.0
作成者	田中 二郎
作成日	2018/06/01
承認者	山田 国歩
承認日	2018/06/01

【フローダイアグラム】



1) ヘッダー部の出力内容を変更したい場合

①「表示」メニューより「マスターページ」をクリックすると、画面が切り替わります。

② 図形を選択して、右クリックメニューから「グループ化解除」を選択します。

表示させたくない項目は図形を削除、項目（図形）の配置場所を変更などの編集ができます。

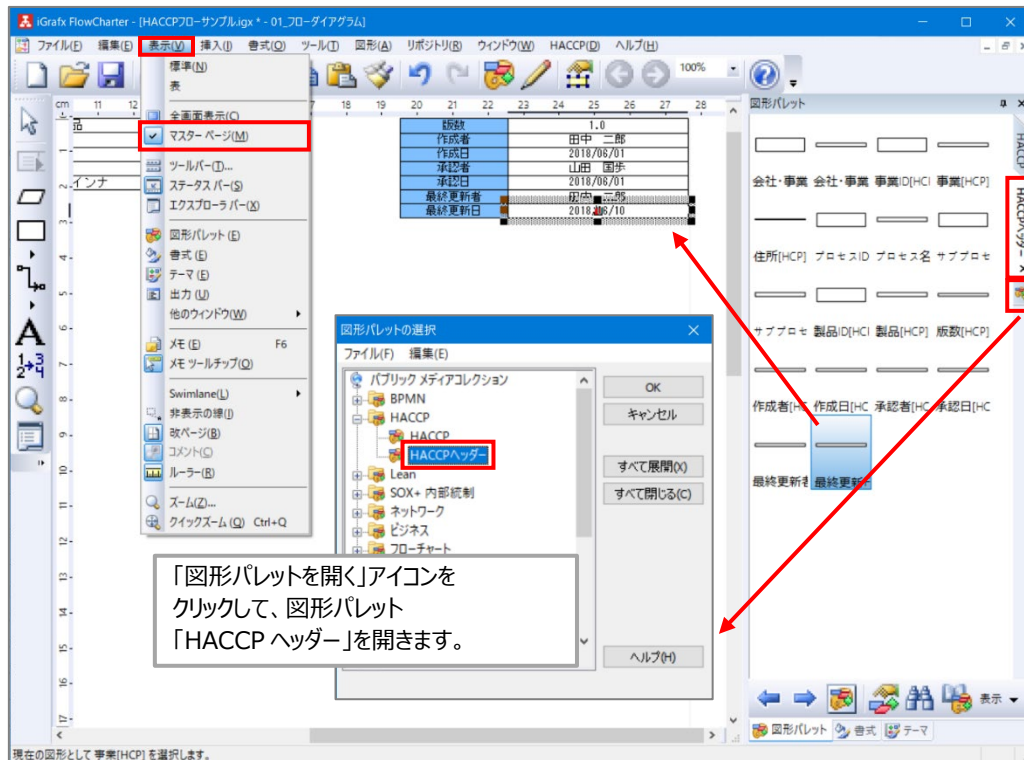
③ 項目を追加する場合は、図形パレット「HACCP」 - 「HACCP ヘッダー」を開きます。

追加したい文書情報の項目（図形）を配置します。

（詳細については【「HACCP ヘッダー」サブジェクト】P70 をご参照ください。）

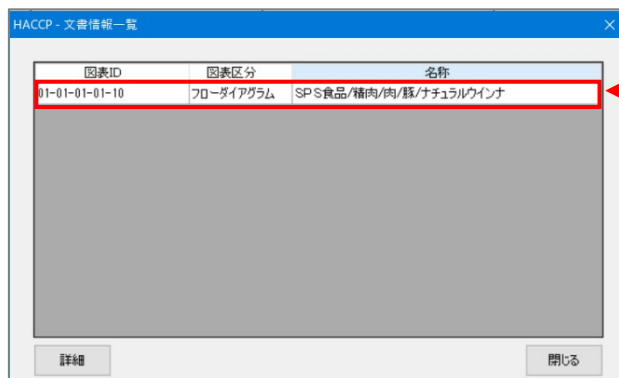
（項目名（タイトル）は、既置の図形を流用（コピー貼り付け）して手入力します。）

④「表示」メニューより「標準」をクリックすると、フロー部の編集画面に戻ります。



2. 文書情報一覧

現在開いているすべての HACCP 文書が一覧表示されます。複数のファイルを同時に開いている場合、開いているすべての文書が表示対象です。また一覧から文書を選択して「文書情報」ダイアログボックスを表示することができます。「HACCP」メニューより「文書情報一覧」を選択すると、「文書情報一覧」ダイアログボックスが表示されます。



任意の行を選択すると、該当の文書に表示を切り替えます。

任意の行を選択して「詳細」ボタンをクリックすると、文書情報ダイアログボックスが表示されます。

項目	説明
図表 ID	開いている文書の図表識別が表示されます。
図表区分	図形区分（フローダイアグラム）が表示されます。
名称	文書情報のプロセス情報より、製品/サブプロセス/プロセス/事業部/会社の名称が表示されます。

3. 図形情報一覧

図表に配置している図形の一覧が表示されます。図形種別による絞り込みや、各図形ダイアログボックスに入力された内容の検索ができます。また、一覧から各図形ダイアログボックスを表示することができます。

「HACCP」メニューより「図形情報一覧」を選択すると、「図形情報一覧」ダイアログボックスが表示されます。

図表ID 図形種別 ナンバー 内容

01-01-01-01-10	原材料	原材料1	豚肉
01-01-01-01-10	原材料	原材料2	香料ミックス
01-01-01-01-10	原材料	原材料3	氷
01-01-01-01-10	原材料	原材料4	牛腸
01-01-01-01-10	原材料	原材料5	包材
01-01-01-01-10	工程	1	受入/管理部担当者は原材料(豚肉)の受け入れを行う。
01-01-01-01-10	工程	2	受入/管理部担当者は原材料(豚肉)の受け入れを行う。
01-01-01-01-10	工程	3	受入/管理部担当者は原材料(氷)の受け入れを行う。
01-01-01-01-10	工程	4	受入/管理部担当者は原材料(牛腸)の受け入れを行う。
01-01-01-01-10	工程	5	受入/管理部担当者は原材料(包材)の受け入れを行う。
01-01-01-01-10	工程	6	冷蔵保管/管理部担当者は原材料(豚肉)を荷台に載せた...
01-01-01-01-10	工程	7	常温庫倉庫/管理部担当者は原材料(香料ミックス)を荷台...

詳細 閉じる

一覧表示したい文書や図形種別をドロップダウンより選択します。

詳細な検索条件を指定する場合は、項目名、項目値を指定・入力して「検索」ボタンをクリックします。

任意の行を選択したときは、該当の図形にフォーカスが移動し、選択状態になります。

項目	説明
文書	ドロップダウンリストより、図形情報を確認したい文書を選択します。 初期は、アクティブ（最前面）な図表が選択されています。
図形種別	ドロップダウンリストより、HACCP 図形の種別を選択します。 （原材料・工程・検証・生物危害・化学危害・物理危害・アレルギー・危害・品質・統合危害）
検索条件	図形種別を選択後、さらに詳細な条件を指定して図形を検索することができます。 項目名または項目値を入力して「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が一覧に表示されます。 ※図形種別が「全て」の場合は、使用できません。
項目名	ドロップダウンリストより、図形項目を選択します。 選択した図形種別により、選択できるリストが変わります。
項目値	ドロップダウンリストよりリスト選択、または検索したい文字列（任意のキーワード）を入力します。 項目名で指定した項目によって、選択できるリストが変わります。
一覧	文書の図表識別が表示されます。 図形の種別が表示されます。 図形のナンバーが表示されます。 図形ダイアログボックスに入力した内容が表示されます。
詳細（ボタン）	任意の行を選択して「詳細」ボタンをクリックすると、図形ダイアログボックスが表示、入力できます。

4. 図形情報登録

4.1 「原材料」図形ダイアログボックス

図形情報一覧から図形種別が「原材料」の行を選択し「詳細」ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。一覧画面から表示したダイアログボックスには「前頁」「次頁」ボタンがあり、連続入力ができます。

※画面上の図形を直接ダブルクリックして表示した場合は、「前頁」「次頁」ボタンは表示されません。

「拡大」ボタンをクリックすると「長文」ダイアログボックスが開きます。長文を入力する際に便利です。

1) 基本情報

項目	内容	文字数
原材料ナンバー	図形を配置したときに、自動付番されます。修正ができます。半角数字で入力します。	4 字
原材料名	原材料の名称を入力します。	30 字
辞書グループ ID	辞書機能で登録した辞書グループ ID が表示されます。	20 字
登録番号	辞書機能で登録した登録番号が表示されます。	10 字
辞書	「HACCP クリエータ管理者キット」の「辞書データの入力」で編集登録した原材料辞書呼び出して、ひな形として利用できます。（原材料辞書呼び出して選択すると、既存のデータは全て原材料辞書の内容に上書きされます。） 詳細については「辞書からの登録」P57 をご参照ください。 原材料辞書を編集するには、「HACCP クリエータ管理者キット」の「辞書データの入力」での設定変更が必要です。 詳細については、「HACCP クリエータ管理者キット ユーザーズガイド」をご参照ください。	－

2) 「8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料の特性」タブ

項目	内容	文字数
生物、化学、物理性特性	文章で入力します。	500 字
添加物、加工助剤を含む成分組成	文章で入力します。	500 字
由来	文章で入力します。	500 字

項目	内容	文字数
原産地	文章で入力します。	500 字
製造方法	文章で入力します。	500 字
包装及び配送方法	文章で入力します。	500 字
保管条件及びシェルライフ	文章で入力します。	500 字
使用・加工前準備・取扱	文章で入力します。	500 字
合否判定基準又は仕様書	文章で入力します。	500 字

4.2 「工程」図形ダイアログボックス

図形情報一覧から図形種別が「工程」の行を選択し「詳細」ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。一覧画面から表示したダイアログボックスには「前頁」「次頁」ボタンがあり、連続入力ができます。

※画面上の図形を直接ダブルクリックして表示した場合は、「前頁」「次頁」ボタンは表示されません。

1) 基本情報

項目	内容	文字数
前工程	接続線のつながっている前工程の名称が表示されます。	—
工程ナンバー	図形を配置したときに、自動付番されます。修正ができます。半角数字で入力します。	4 字
工程名称	工程の名称を入力します。	30 字
辞書グループ ID	辞書機能で登録した辞書グループ ID が表示されます。	20 字
登録番号	辞書機能で登録した登録番号が表示されます。	10 字
辞書	「HACCP クリエイト管理者キット」の「辞書データの入力」で編集登録した工程辞書呼び出して、ひな形として利用できます。（工程辞書呼び出して選択すると、既存のデータは全て工程辞書の内容に上書きされます。） 詳細については「辞書からの登録」P57 をご参照ください。 工程辞書を編集するには、「HACCP クリエイト管理者キット」の「辞書データの入力」での設定変更が必要です。 詳細については、「HACCP クリエイト管理者キット ユーザーズガイド」をご参照ください。	—
手順	工程の詳細を入力します。	2048 字

2) 「工程管理」タブ

項目	内容	文字数
担当者	担当者を入力します。	800 字
管理項目	管理項目を入力します。	800 字
管理基準	管理基準を入力します。 入力した内容は、工程図形の右下に表示されます。	800 字
測定方法	測定方法を入力します。	800 字
要求事項	要求事項を入力します。	800 字
記録	記録を入力します。	800 字
検証	検証を入力します。	800 字
確認済み	危害分析を終えている工程の場合、「済」にチェックを入れます。	－
備考	備考を入力します。	800 字

3) 「付帯図形」タブ

タブをクリックすると画面が切り替わります。紐付いている危害図形の一覧が表示されます。
 任意の行を選択すると、該当の図形にフォーカスが移動し、選択状態になります。
 任意の行を選択して「詳細」ボタンをクリックすると、図形ダイアログボックスが表示されます。

4.3 「危害」図形ダイアログボックス

図形情報一覧から図形種別が「危害」の行を選択し「詳細」ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。一覧画面から表示したダイアログボックスには「前頁」「次頁」ボタンがあり、連続入力ができます。

※画面上の図形を直接ダブルクリックして表示した場合は、「前頁」「次頁」ボタンは表示されません。

「拡大」ボタンをクリックすると「長文」ダイアログボックスが開きます。長文を入力する際に便利です。

1) 基本情報

項目	内容	文字数
工程名	紐付いている工程の名称が表示されます。	－
危害ナンバー	図形を配置したときに、自動付番されます。修正ができます。 半角数字で入力します。	4 字
辞書グループ ID	辞書機能で登録した辞書グループ ID が表示されます。	20 字
登録番号	辞書機能で登録した登録番号が表示されます。	10 字
辞書	「HACCP クリエイト管理者キット」の「辞書データの入力」で編集登録した危害辞書を呼び出して、ひな形として利用できます。（危害辞書を呼び出して選択すると、既存のデータは全て危害辞書の内容に上書きされます。） 詳細については「辞書からの登録」P57 をご参照ください。 危害辞書を編集するには、「HACCP クリエイト管理者キット」の「辞書データの入力」での設定変更が必要です。 詳細については、「HACCP クリエイト管理者キット ユーザーズガイド」をご参照ください。	－
8.5.2.2.1 ハザードの特定	文章で入力します。	2048 字

2) 「8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選択及び分類」タブ

項目	内容	文字数
8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段	文章で入力します。	500 字
8.5.2.2.3 許容水準の有無	「あり」「なし」のいずれかにチェックを入れます。	－
8.5.2.2.3 許容水準	文章で入力します。	500 字
8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)	1～5 までのいずれかにチェックを入れます。	－
8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)	1～5 までのいずれかにチェックを入れます。	－
8.5.2.3 ハザード評価(評価点)	「8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)」と「8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)」の設定値を掛けた結果が自動登録されます。	－
8.5.2.3 ハザード評価(その他)	文章で入力します。	100 字
8.5.2.4.1 管理手段の評価	該当する項目にチェックを入れます。複数設定もできます。 b-4) 複合である a) 安定してできる b) 重大な事故につながる b-1) 効果は十分である b-2) 最終段階である b-3) 重大な事故を防止できる	－
8.5.2.4.2 管理手段の可能性評価	該当する項目にチェックを入れます。複数設定もできます。 a)許容限界または処置基準を確立できる b)許容限界または処置基準の逸脱を検知できる c)逸脱の際にその場で判断・修正できる	－
8.5.2.4 管理手段の選択と分類	CCP OPRP PRP ※CCP、OPRP を選択した場合、フローダイアグラム上に文字が表示されます。PRP を選択した場合は何も表示されません。	－

3) 「8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定」タブ

項目	内容	文字数
8.5.4 許容限及び処置基準の有無	「あり」「なし」のいずれかにチェックを入れます。	－
8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定	文章で入力します。	500 字

4) 「8.5.4.3 モニタリングシステム」タブ

項目	内容	文字数
a) 測定、観察	文章で入力します。	300 字
b) 方法または機器	文章で入力します。	300 字
c) 機器と方法の校正	文章で入力します。	300 字
d) 頻度	文章で入力します。	300 字
e) 結果	文章で入力します。	300 字
f) 責任と権限	文章で入力します。	300 字
g) 結果の評価に関する責任と権限	文章で入力します。	300 字

5) 「8.5.4.4 許容限界及び処置基準逸脱時の対応」タブ

項目	内容	文字数
8.9.2 修正	文章で入力します。	800 字
8.9.3 是正	文章で入力します。	800 字
8.9.4 製品が不適合かリリースできるのか	文章で入力します。	800 字
8.9.4.2 リリースの場合	文章で入力します。	800 字
8.9.4.3 不適合の場合	文章で入力します。	800 字

4.4 「検証」図形ダイアログボックス

図形一覧表から図形種別が「検証」の行を選択し「詳細」ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。一覧画面から表示したダイアログボックスには「前頁」「次頁」ボタンがあり、連続入力ができます。

※画面上の図形を直接ダブルクリックして表示した場合は、「前頁」「次頁」ボタンは表示されません。

The dialog box is titled "HACCP - 検証". It has a search bar at the top. Below it, there's a section for "9.8.1 検証" with a list of items on the left and a table of details on the right. The table has columns for "項目名" (Item Name) and "項目値" (Item Value). The items listed are: a) PRPの実施確認, b) HACCPプランの効果確認, c) 危害レベルが許容水準内の確認, d) ハザード分析の更新, e) その他の組織が決定した手順の効果確認, and ※クレーム・回収. The table shows details for "a) PRPの実施確認", including "方法" (Method), "頻度" (Frequency), "責任" (Responsibility), and "記録" (Records). A red box highlights the "拡大" (Expand) button in the bottom right corner of the dialog box.

「拡大」ボタンをクリックすると「長文」ダイアログボックスが開きます。長文を入力する際に便利です。

1) 基本情報

項目	内容	文字数
検証ナンバー	図形を配置したときに、自動付番されます。修正ができます。 半角数字で入力します。	4 字

2) 8.8.1 検証

項目	内容	文字数
分類	a) PRP の実施確認 b) HACCP プランの効果確認 c) 危害レベルが許容水準内の確認 d) ハザード分析の更新 e) その他の組織が決定した手順の効果確認 ※クレーム・回収	—
方法	文章で入力します。	500 字
頻度	文章で入力します。	500 字
責任	文章で入力します。	500 字
記録	文章で入力します。	500 字

5. 外部リンク情報一覧

現在開いている文書の図形からリンクされている文書の一覧が表示できます。

一覧から図形を選択してリンク文書を表示して、リンク情報の詳細を確認することができます。

「HACCP」メニューより「外部リンク一覧」を選択すると、「外部リンク情報一覧」ダイアログボックスが表示されます。

一覧表示したい文書や図形種別をドロップダウンより選択します。

任意の行を選択したときは、該当の図形にフォーカスが移動し、選択状態になります。

項目	説明
文書	ドロップダウンリストより、外部リンク情報を確認したい文書を選択します。 初期は、アクティブ（最前面）な図表が選択されています。
図形種別	ドロップダウンリストより、HACCP 図形の種別を選択します。 （全て・原材料・工程・検証・生物危害・化学危害・物理危害・アレルギー危害・品質・統合危害）
一覧	文書の図表識別が表示されます。
	図形の種別が表示されます。
	図形のナンバーが表示されます。
	リンク先のファイル名が表示されます。
リンク文書表示（ボタン）	任意の行を選択して「詳細」ボタンをクリックすると、リンク文書を開きます。
詳細（ボタン）	任意の行を選択して「詳細」ボタンをクリックすると、リンク情報（概要（ファイル名、リンク先））が表示されます。変更も可能です。

6. リナンバリング

「リナンバリング」機能を使って、図形に表示されるナンバーを振り直すことができます。
「HACCP」メニューより「リナンバリング」を選択すると、「リナンバリング」ダイアログボックスが表示されます。

HACCP - リナンバリング

対象とする図形を選択し、開始番号を指定してください。

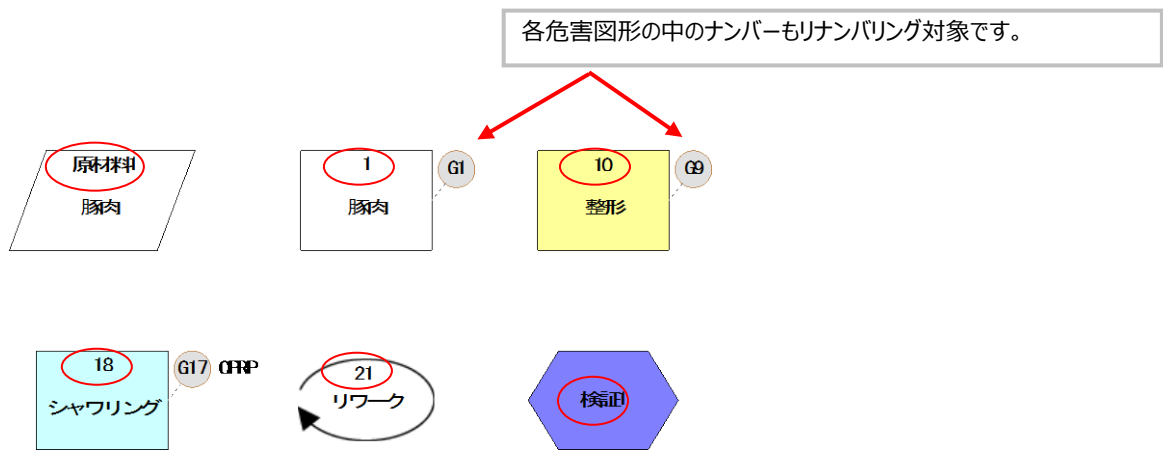
	図形名	開始番号
<input type="checkbox"/>	原材料	1
<input type="checkbox"/>	工程	1
<input type="checkbox"/>	検証	1
<input type="checkbox"/>	生物危害	1
<input type="checkbox"/>	化学危害	1
<input type="checkbox"/>	物理危害	1
<input type="checkbox"/>	アレルギー危害	1
<input type="checkbox"/>	品質	1
<input type="checkbox"/>	統合危害	1

☐ 自動番号付け直しを実行

OK キャンセル

項目	内容
図形名チェックボックス	チェックを入れた図形の番号をリナンバリングの対象にします。
開始番号	連番の始まり（基点ナンバー）が表示されます。 初期値は、「文書情報」の「番号設定」タブで指定することができます。

6.1 リナンバリング対象ナンバー



6.2 リナンバリングのルール

リナンバリングのルールは以下の通りです。

- ◆ リナンバリングの単位は、「原材料」「工程」「検証」「生物危害」「化学危害」「物理危害」「品質」「統合危害」「アレルギー危害」ごとです。
- ◆ 「原材料」「工程」図形については、図形が配置したときに付けられる内部的な図形番号を基準にしてナンバーが付けられます。
- ◆ 「危害」図形は、紐付いている「工程」図形を基準に、以下の優先順位でリナンバリングされます。
 - ・紐付いている図形の工程ナンバー順
 - ・「危害」図形の配置位置の順（優先順位は図表の上⇒左）
- ◆ 「検証」図形は、配置位置の順（優先順位は図表の上⇒左）

6.3 リナンバリング手順【自動番号付け】

フローダイアグラムの図形に表示されるナンバーを自動付番します。自動付番のルールは、フローダイアグラムの流れに沿った順番です。接続線の向きを基準に付番されますが、一つの図形から複数の接続線が出力されている場合には、一つの接続線が優先されて付番されていくため、複数の接続線が出力されている図形の数が多い場合には意図しない順番で付番される場合もあります。
※個々の図形に対して番号を直接指定する場合は「リナンバリング手順【直接番号指定】」をご参照ください。

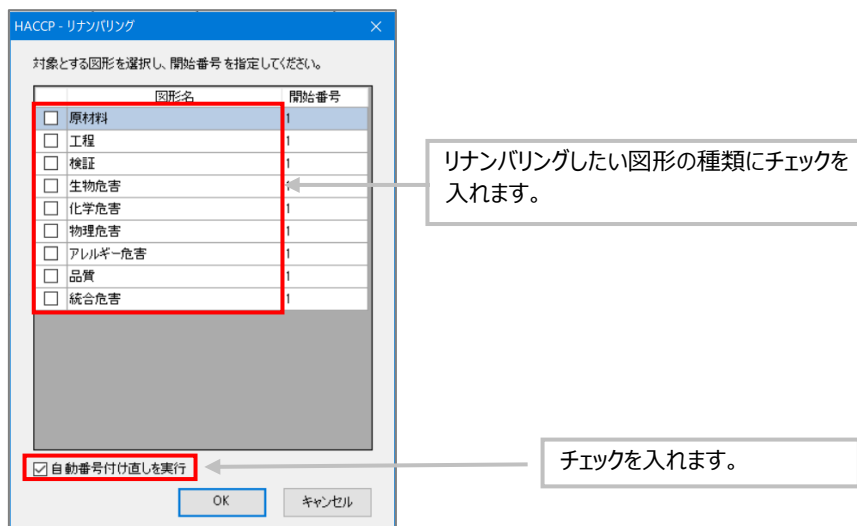
①「HACCP」メニューより「リナンバリング」を選択し、ダイアログボックスを開きます。

② リナンバリングする図形を選択し、図形名にチェックボックスにチェックを入れます。

複数図形をリナンバリングするときは、複数図形にチェックを入れてください。

（「危害」図形については、「危害」図形以外のリナンバリングが終了してからリナンバリングします。）

③「自動番号付け直しを実行」にチェックを入れます。



④「OK」ボタンをクリックすると、リナンバリングが開始します。

6.4 リナンバリング手順【直接番号指定】

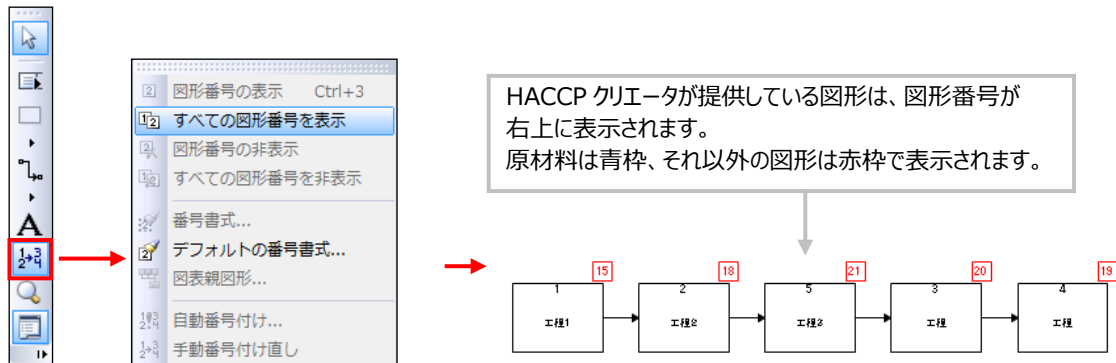
意図する番号付けがされるよう図形単位で直接指定する場合には、本手順を行いません。

ナンバーは図形番号を基準にリナンバリングされます。図形番号は、小さい順に並んでいれば抜けている番号があってもかまいません。リナンバリング機能を利用する前に、図形番号を付け直す必要があります。ただし、「危害」図形は図形番号を付け直す必要がありません。

1) 図形番号の表示

図形番号とは、すべての図形が内部的に持っている番号のことで、図形ごとに表示されているナンバーとは異なるものです。通常は、図表上に表示されませんので、図形番号をつけ直す前に図形番号を表示します。

- ① 「ツールボックス」ツールバー-「図形番号」アイコン-「すべての図形番号を表示」をクリックします。

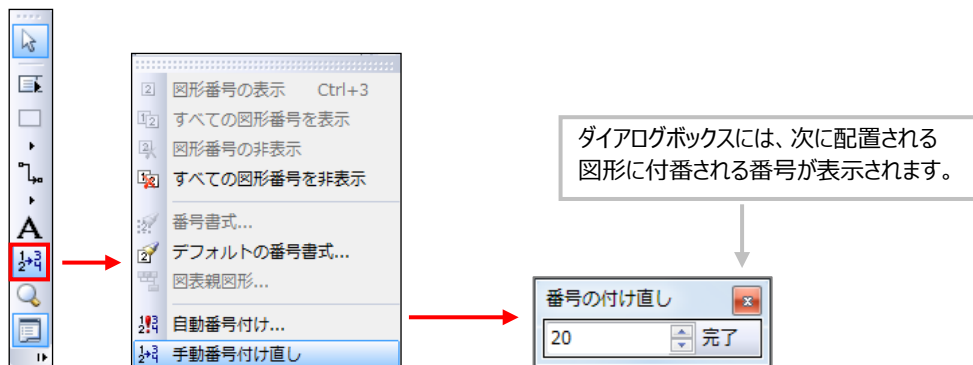


2) 図形番号の付け直し

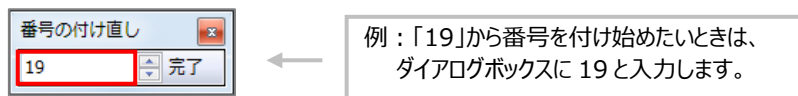
図形番号の付け直しには、2種類の方法がありますが、ここでは手動番号付け直しの方法で説明します。任意の図形に意図した番号を付けます。

- ① 「ツールボックス」ツールバー-「図形番号」アイコン-「手動番号付け直し」をクリックします。

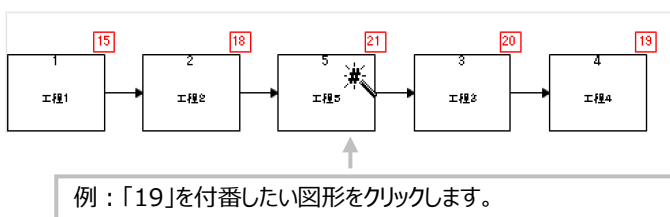
「番号の付け直し」ダイアログボックスが表示されます。



- ② 「番号の付け直し」ダイアログボックスに付番したい番号を入力します。



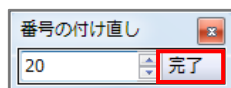
- ③ 番号を付与する図形をクリックします。



④ 図形をクリックすると、図形に新たな番号が付けられ、ダイアログボックスの番号が自動的に繰り上がります。



⑤ 番号を付与し終えたら、「完了」ボタンをクリックします。



3) リナンバリング

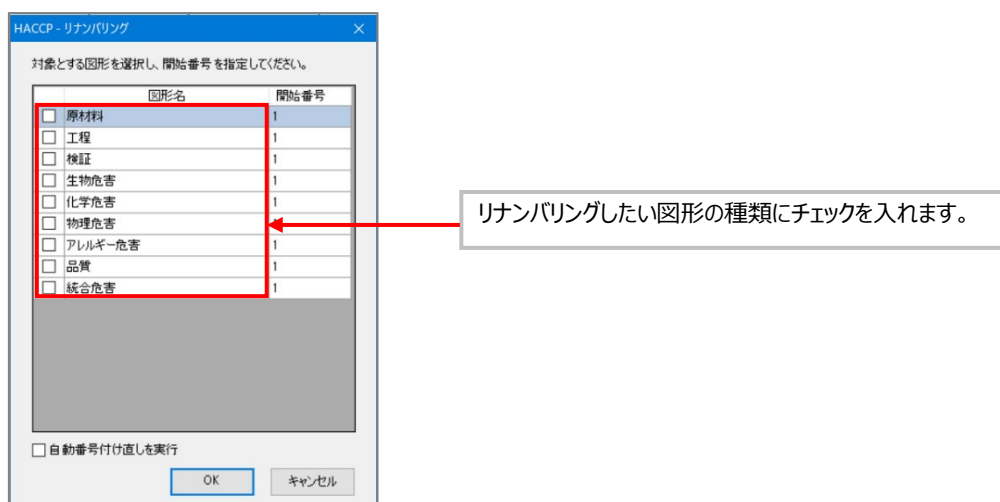
図形番号を付け直した後、リナンバリングをします。

① 「HACCP」メニューより「リナンバリング」を選択し、ダイアログボックスを開きます。

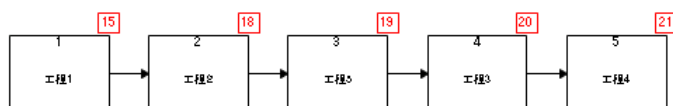
② リナンバリングする図形を選択し、図形名チェックボックスにチェックを入れます。

複数図形をリナンバリングするときは、複数図形にチェックを入れてください。

(「危害」図形については、「危害」図形以外のリナンバリングが終了してからリナンバリングします。)



③ 「OK」ボタンをクリックすると、リナンバリングが実行されます。



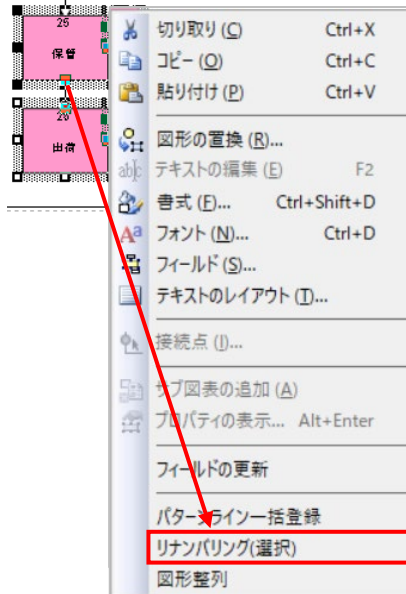
④ リナンバリングが正しく実行されたのを確認したら、「ツールボックス」ツールバー-「図形番号」アイコン-「すべての図形番号を非表示」をクリックし、図形番号を非表示にします。

6.5 リナンバリング【選択】

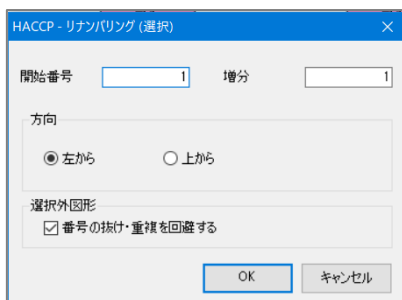
iGrafx 上で HACCP 図形をまとめて選択し、リナンバリングを行います。

リナンバリングが行える図形は「工程」図形です。

① 対象となる「工程」図形を選択した状態で右クリックし、メニューの「リナンバリング(選択)」をクリックします。



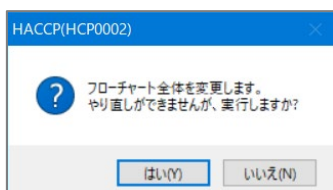
② 「リナンバリング(選択)」ダイアログボックスが表示されます。設定を確認し、OK ボタンをクリックします。



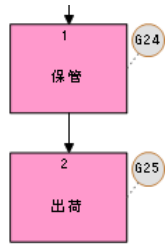
【ダイアログボックスの項目】

項目	内容
開始番号、増分	選択された図形の開始番号と増分値を指定します。
方向	リナンバリングが行われる順序を指定します。 ・「左から」 選択されている図形の配置位置が左側にある図形からリナンバリングが行われます。 ・「上から」 選択されている図形の配置位置が上にある図形からリナンバリングが行われます。
選択外図形 番号の抜け・重複を回避する	リナンバリング実行時、すでに存在する番号で開始番号より大きな番号について自動的に変更し、重複を回避します。 図形番号が重複した場合、対象図形のリナンバリング後に最大値の次の番号から順次割り当て直されます。 番号が途中で抜けている場合は、抜けている番号を埋める形で採番されます。

③ 実行する場合は「はい」をクリックします。

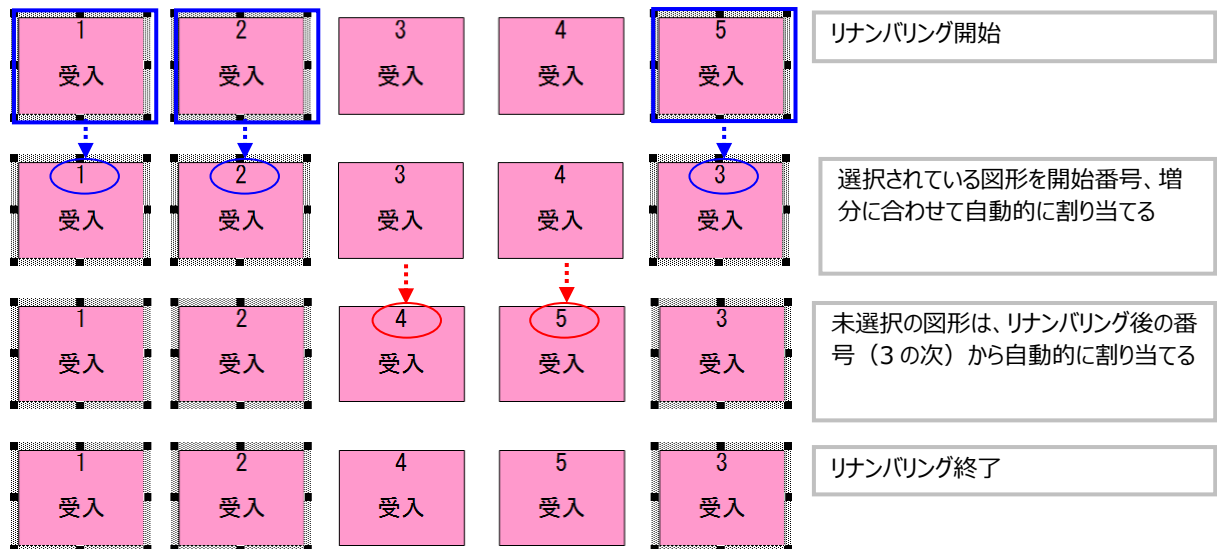


④ リナンバリングを行います。

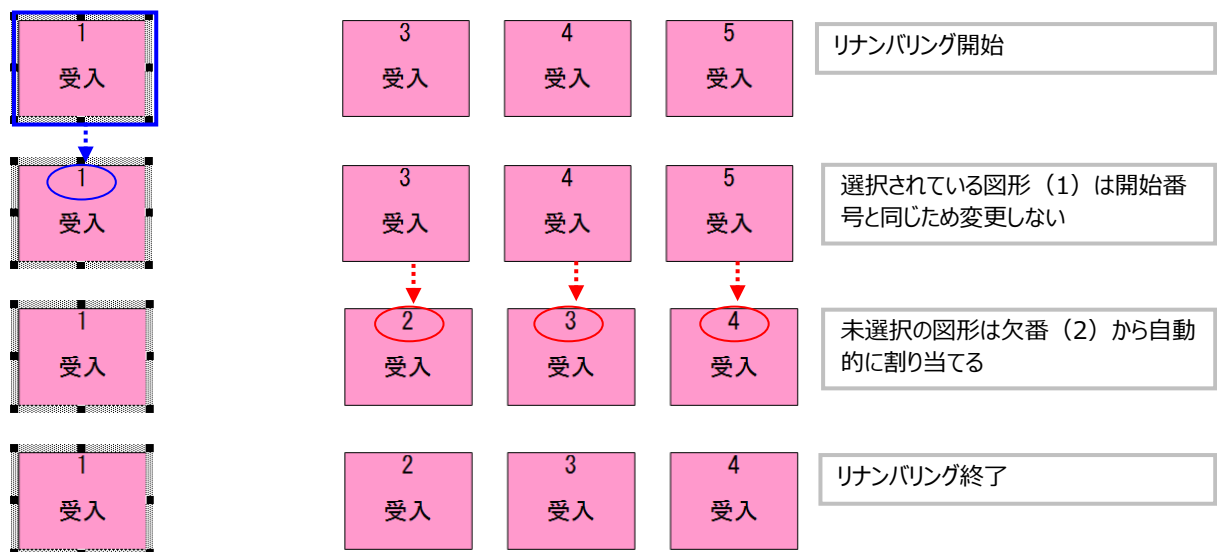


 登録時に「工程」図形以外が含まれた場合、「工程」図形以外はリナンバリングされません。

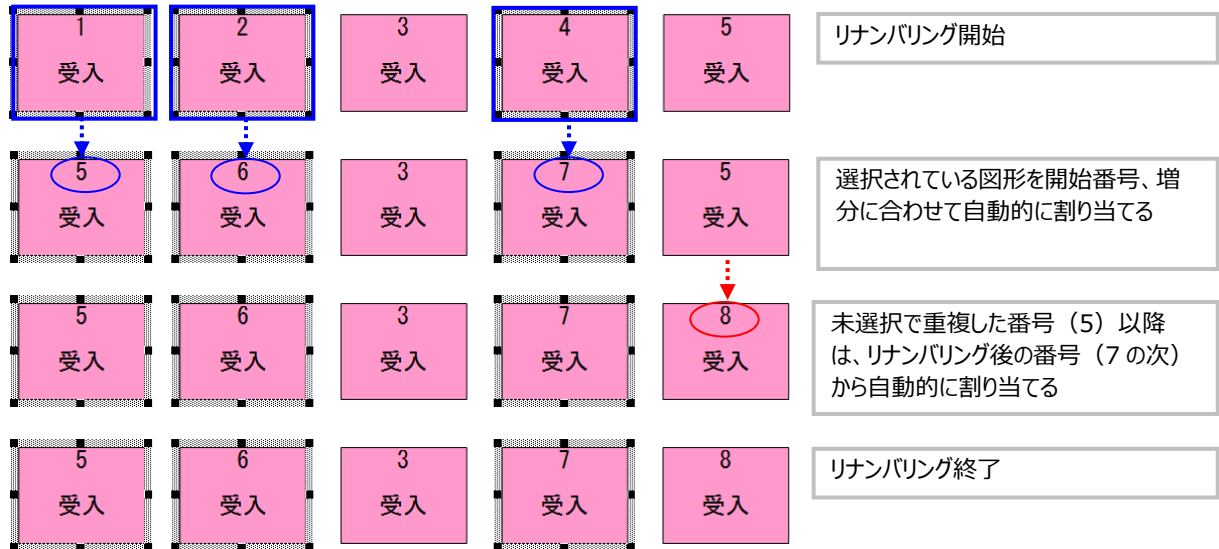
1) 開始番号 1、増分 1、リナンバリング（図形 1、図形 2、図形 5）の場合...



2) 開始番号 1、増分 1、リナンバリング（図形 1）、図形 2 が欠番の場合...



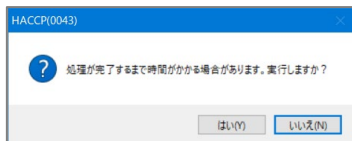
3) 開始番号 5、増分 1、リナンバリング（図形 1、図形 2、図形 4）の場合…



7. 整合性チェック

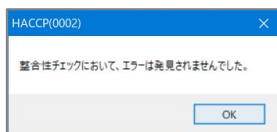
開いているすべての文書を対象に、文書における整合性をチェック、正しく作図・登録がされていない可能性のある箇所を特定します。整合性チェックで確認される内容は、作業の漏れ、ミスを防ぐためのものであり、検出されてもそれが完全なエラーというわけではありません。検出結果のエラーリスト内容は、作図ルール、運用方法により判断してください。

「HACCP」メニューより「整合性チェック」を選択すると、処理実行の確認メッセージが表示されます。



7.1 エラーが検出されなかった場合

エラーが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



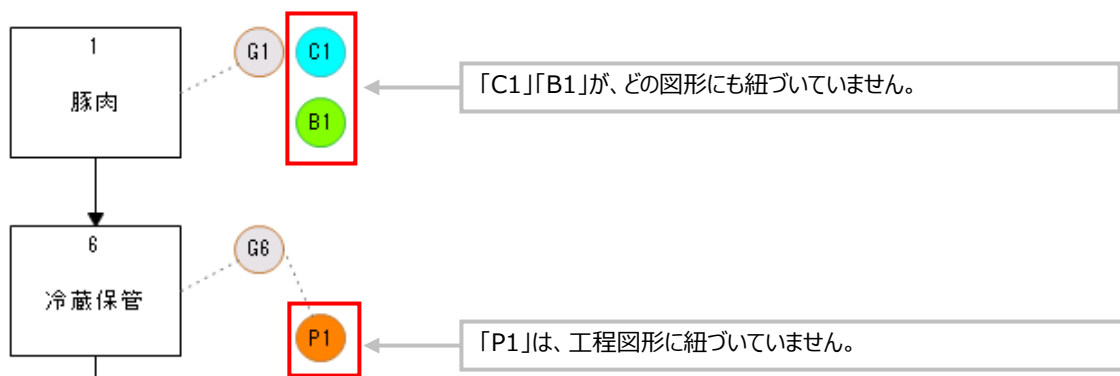
7.2 エラーが検出された場合

エラー発生時には、エラー内容を一覧表示します。

HACCP - 整合性チェック一覧			
図表ID	図形種別	ナンバー	チェック内容
01-01-01-01-10			図表IDが重複しています。
01-01-01-01-10			図表IDが重複しています。
01-01-01-01-10	生物危害(HCP)	B1	工程図形に紐付けされていません。
01-01-01-01-10	生物危害(HCP)	B1	工程図形に紐付けされていません。
01-01-01-01-10	汚染区域(HCP)	2	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	汚染区域(HCP)	2	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	凍結区域(HCP)	12	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	凍結区域(HCP)	12	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	生物危害(HCP)	B1	危害Noが重複しています。
01-01-01-01-10	生物危害(HCP)	B1	危害Noが重複しています。
01-01-01-01-10	汚染区域(HCP)	2	工程Noが重複しています。
01-01-01-01-10	汚染区域(HCP)	2	工程Noが重複しています。

「整合性チェック一覧」でエラー行を選択すると、フローダイアグラム画面上で対応するエラー図形にフォーカスが移動し選択状態になります。

7.3 エラー事例



8. 帳票出力

HACCP 文書に入力した情報をもとに選択した帳票（Excel ファイル）を出力します。

8.1 「帳票出力」手順

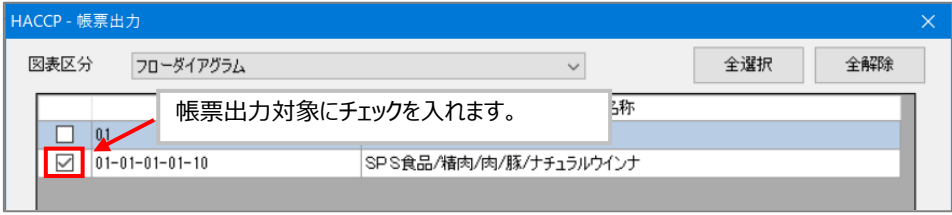
「HACCP」メニューより「帳票出力」を選択すると、「帳票出力」ダイアログボックスが表示されます。

※図表識別が空白か、他の文書の図表識別と重複している場合、「HACCP」メニューの「帳票出力」がグレーアウトされます。その場合は、「文書情報」より図表識別を確認してください。

1) 出力対象文書の選択

開いているすべての文書が一覧に表示されます。帳票出力する対象の文書をクリックしてチェックを入れます。

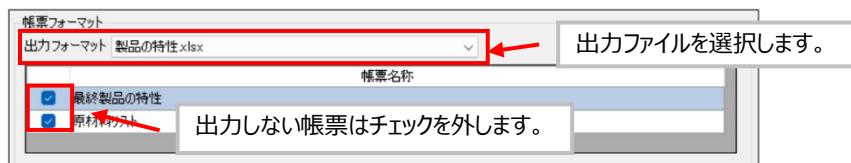
初期は、アクティブ（最前面）な図表識別にチェックが入れてあります。



項目	説明
一覧	開いている文書の図表識別が表示されます。
	業務/サブプロセス/プロセス/事業部/会社の名称が表示されます。
全選択 (ボタン)	全ての文書 (図表識別) にチェックを入れて出力対象にします。
全解除 (ボタン)	全ての文書 (図表識別) のチェックを外して出力対象外にします。

2) 出力フォーマットの選択

出力フォーマット(Excel ファイル)、出力帳票 (Excel シート) を指定します。
プルダウンリストから出力フォーマットを選択すると、一覧に出力帳票が表示されます。
帳票をクリックしてチェックを外すと、出力対象外になります。



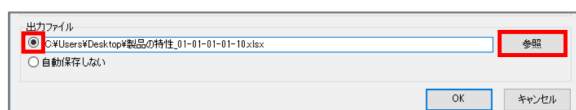
【出力フォーマット】

ファイル名	帳票名	内容
製品の特性	最終製品の特性	文書情報ダイアログボックスの「製品情報」タブに入力した内容をもとに、製品情報を表示します。
	原材料リスト	「原材料」図形をもとに原材料情報を一覧表示します。
工程管理表	工程管理表	「工程」図形をもとに工程情報を一覧表示します。
ハザード分析表	ハザード分析表	HACCP 文書に登録されたすべての「工程」図形を基準にして、ハザードに関する情報を出力します。 どの工程にどのような危害があるかを確認できます。
ハザード管理プラン表	ハザード管理プラン表	CCP または OPRP が設定されている「危害図形」内の許容限界、モニタリング手順及び許容限界逸脱時の対応情報を一覧出力します。
ハザード管理プラン単票	ハザード管理プラン(CCP)	CCP が設定されている「危害図形」内の許容限界、モニタリングシステム及び許容限界逸脱時の対応情報を一覧出力します。
	ハザード管理プラン(OPRP)	OPRP が設定されている「危害図形」内の処置基準、モニタリングシステム及び処置基準逸脱時の対応情報を一覧出力します。
検証プラン	検証プラン	「検証」図形をもとに「検証プラン」を出力します。
パターンマトリクス	パターンマトリクス	フローに登録されたパターンと含まれる工程のマトリクス表を出力します。
QC 工程表	QC 工程表	管理工程と工程に紐づけられている品質図形の内容を一覧で出力できます。 (オプション機能)

3) 出力先指定

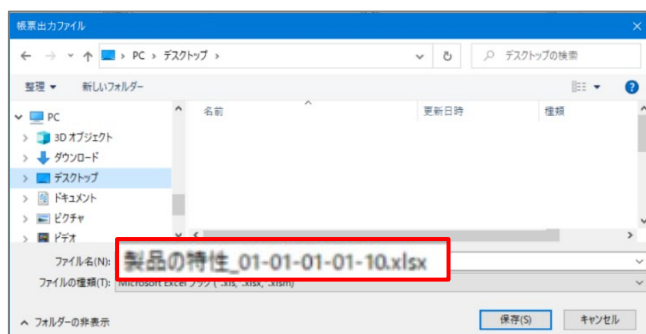
◆ 自動保存する


① ラジオボタンの上の方を選択し、「参照」ボタンをクリックします。



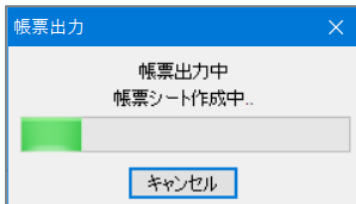
② 「帳票出力ファイル」ダイアログボックスが開きます。

保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力後、「保存」ボタンをクリックします。

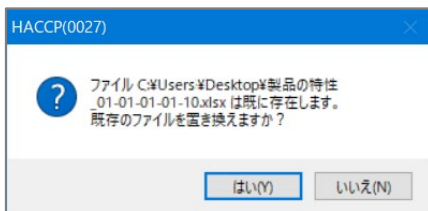



 実際に作成される Excel ファイルには、「図表識別」が付加されます。
例：製品の特性_01-01-01-01-10.xlsx

③ 下記のメッセージ出力後、Excel が自動表示されます。

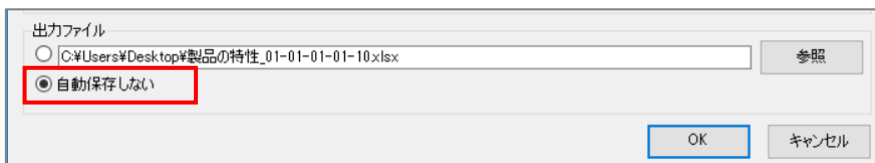


既にある帳票のファイルと同じ出力場所・名前を指定した場合、下記のダイアログボックスが表示されます。
既存の帳票のファイルを置き換えても良い場合は「はい」をクリックして帳票を上書きします。



 Excel を閉じるときに保存するかどうか尋ねられますが、すでに一度保存されていますので、参照しただけであれば保存しなくても問題ありません。

◆ 自動保存しない



「自動保存しない」を選択すると「出力時の年月日時間」_「選択した出力フォーマット名」11.xlsx という名前で Excel が表示されます。このまま保存する場合は、「名前を付けて保存」をする必要があります。

4) 各帳票フォーマット

◆「製品の特性」フォーマット

出力フォーマットで「製品の特性」を選択した場合、初期値では、2 種類の帳票が作成されます。

●「最終製品の特性」

文書情報ダイアログボックスの「製品情報」タブに入力した内容をもとに、製品情報を出力します。

図表識別		01-01-01-01-10	
最終製品の特性			
【製品情報】			
会社・事業拠点	01	SPS食品	
事業	01	肉類	
プロセス	01	肉	
サブプロセス	01	豚	
製品	01	ナチュラルウインナ	
■組成			
豚肉、水、食塩、香辛料			
■生物・化学・物理的特性			
・水分含量: 1000以下/g ・凍結融解: 700cm以下 ・大腸菌数: 陽性 ・黄色ブドウ球菌: 陽性 ・クロストリジウム属: 1000個/g以下 ・異常のないこと(カビ、品質劣化、異物等)			
■シェルフライフ及び保管条件			
・消費期限: 製造日より14日以内 ・保存方法: 要冷蔵 (10℃以下)			
■包装			
・形態: 真空包装 ・材質: プラスチックフィルム			
■表示、取り扱い、調整、使用法			
・保管: 0～10℃ ・そのまま又は加熱して喫食			
■配送方法			
・出荷時: 0～10℃ ・冷蔵車 (0～10℃) による顧客への直接配送			
■意図した用途			
【文書作成者情報・作成履歴】			
版数	1.0		
作成者	田中 二郎	作成日	2018/06/01
最終更新者	田中 二郎	最終更新日	2018/06/10
承認者	山田 国孝	承認日	2018/06/01

●「原材料リスト」

「原材料」図形に入力されたすべての情報を出力します。

【出力順】: 原材料ナンバー順

原材料リスト										
図表識別	No	登録番号	原材料名	生物・化学・物理的特性	配合材料と添加物の組成	由来	原産地	製造方法	包装及び配送方法	保管条件及びシェルフライフ
01-01-01-01-10	原材料1	01	豚肉	無し	肉類の凍結安定剤「ホウ酸」から(原料別名)	肉類	肉類	肉類	肉類	肉類
	原材料2	01	香辛料ミックス	無し	肉類の凍結安定剤「ホウ酸」から(原料別名)	肉類	肉類	肉類	肉類	肉類
	原材料3	01	水	無し	肉類の凍結安定剤「ホウ酸」から(原料別名)	肉類	肉類	肉類	肉類	肉類
	原材料4	01	砂糖	無し	肉類の凍結安定剤「ホウ酸」から(原料別名)	肉類	肉類	肉類	肉類	肉類
	原材料5	01	プラスチックフィルム	無し	肉類の凍結安定剤「ホウ酸」から(原料別名)	肉類	肉類	肉類	肉類	肉類

◆ 「工程管理表」フォーマット

● 「工程管理表」

HACCP 文書に登録されたすべての「工程」図形の情報を一覧で出力します。

【出力順】：工程番号順

工程管理表										
図表識別	工程番号	工程名	手順	担当者	管理項目	管理基準	測定方法	要求事項	記録	検証
001-001-001-0	1	受入	管理担当者は原材料（豚肉）の受け入れを行う。	管理部	鮮度・異物		目視 表面温度計		検収記録	落下塵検査
	2	受入	管理担当者は原材料（香科ミックス）の受け入れを行う。	管理部	正確な仕分け・混気味		溶解検査 目視		香料検査	製造環境パトロール
	3	受入	管理担当者は原材料（水）の受け入れを行う。	管理部	水道基準		シアソー濃度検査		工場内管理	落下塵検査
	4	受入	管理担当者は原材料（牛蒡）の受け入れを行う。	管理部	鮮度・異物		目視 表面温度計		検収記録	落下塵検査
	5	受入	管理担当者は原材料（包材）の受け入れを行う。	管理部	異物・埃が混入すること		目視		検収記録	落下塵検査
	6	冷蔵保管	管理担当者は原材料（豚肉）を荷台に載せた上で冷蔵庫へ運搬し、保管する。	管理部	温度		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査
	7	常温庫倉庫	管理担当者は原材料（香科ミックス）を荷台に載せた上で倉庫へ運搬し、保管する。	管理部	香料保管庫		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査
	8	冷蔵保管	管理担当者は原材料（牛蒡）を荷台に載せた上で冷蔵庫へ運搬し、保管する。	管理部	温度		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査
	9	包材庫保管	管理担当者は原材料（包材）を荷台に載せた上で包材庫へ運搬し、保管する。	管理部	香料保管庫		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査
	10	整形	管理担当者は原材料（豚肉）を冷蔵庫から運び出し、整形を実施する。	管理部	入場検定室温		自動記録温度計・ATP		自動記録	製造環境パトロール
	11	計量	管理担当者は整形した豚肉を計量器で計量する。	管理部	正確な計量		次工程での確認		調理記録	落下塵検査
	12	計量	管理担当者は原材料（香科ミックス）を計量器で計量する。	管理部	正確な計量		次工程での確認		調理記録	落下塵検査
	13	計量	管理担当者は原材料（水）を計量器で計量する。	管理部	正確な計量		次工程での確認		調理記録	製造環境パトロール
	14	計量	管理担当者は原材料（牛蒡）を計量器で計量する。	管理部	正確な計量		次工程での確認		調理記録	落下塵検査
	15	細切・混合	管理担当者は豚肉を細切し、水、香科ミックスと混合する。	管理部	入場・器具汚染・ATP		目視・温度確認・ATP		調理記録	落下塵検査
	16	充填	管理担当者は水、香科ミックスと混合した豚肉を手順に充填する。	管理部	入場・器具汚染・室温		自動記録温度計・ATP		自動記録	落下塵検査
	17	熏煙加熱	管理担当者は各種混合したウィンナを加熱室で熏煙加熱する。	管理部	温度	72℃以上	中心温度計		調理記録	・原材料の内部細菌検査 ・製品の内部細菌検査 ・製品の外部公的検査
	18	シャワリング	管理担当者は各種混合したウィンナにシャワリングを実施する。	管理部	清掃洗浄消毒・清潔水	ATP測定200以下	目視・水検査・ATP		包装記録	記録の承認
	19	冷却	管理担当者はウィンナを冷却室で冷却する。	管理部	2時間以内に製品10℃以下	ATP測定200以下	冷却室温度 製品温度		包装記録	記録の承認
	20	小分け	管理担当者はウィンナを切断機で小分けする。	管理部	異物が混入・器具の清潔度	ATP測定200以下	目視 ATP		包装記録	記録の承認
	21	リワーク	管理担当者は小分けして半端なものは細切・混合工程へ戻し入れを行う。	管理部	温度		製品温度		調理記録	記録の承認

◆ 「ハザード分析表」フォーマット

● 「ハザード分析表」

HACCP 文書に登録されたすべての「工程」図形を基準にして、ハザードに関する情報を出力します。

どの工程にどのような危害があるかを確認できます。

また、「工程」図形に紐づいていない危害が存在するときは、工程の後に出力されます。

※12-29 列目までのセルがグレーで表示されます。

【ヘッダー項目】

ブルー：「工程」図形の情報が出力されます。

グリーン：「工程」図形に紐づく「危害」図形のハザード分析情報が出力されます。

【分類】

1つの「工程」図形に対して、複数の危害図形が存在する場合、

- ・B：生物危害
 - ・C：化学危害
 - ・P：物理危害
 - ・A：アレルギー危害
 - ・Q：品質
 - ・G：統合危害
- の順に表示されます。

【管理手段】

CCPの場合：背景がオレンジで出力されます。

OPRPの場合：背景が黄色で出力されます。

【出力順】：工程ナンバー順、「危害」図形表示順

会社・事業拠点										ハザード分析表										版数		作成者		作成日		承認者		承認日		最終更新者		最終更新日	
01 SPS食品																				1.0		田中 二郎		2018/06/01		山田 隆平		2018/06/01		田中 二郎		2018/06/10	
01 精肉																																	
01 プロセス																																	
01 サブプロセス																																	
01 製品																																	
01 ナチュラルウィンナ																																	

図表識別	工程番号	工程名	分類	計画グループID	登録番号	8.5.1.5.3 現在の管理手段		8.5.2.2.1 ハザードの特定		8.5.2.2.3 許容水準		8.5.2.3 ハザード評価				8.5.2.4.1 管理手段の評価					8.5.2.4.2 管理手段の可能性評価			8.5.2.4 管理手段の 選択と分類	
						発生頻度	重大度	評価値	その他	b-4	a	b	b-1	b-2	b-3	a	b	c							
01-01-01-01-10	1	受入	B1			温度検査	品質、入荷時温度	正確な温度	0-5℃	4	2	8												PRP	
	2	受入	B2			品質検査	水分/水分 高い 湿度	正確な水分/水分 湿度		4	2	8												PRP	
	3	受入	B3			水漏れ検査	水の汚染	水漏れ基準		4	3	12												PRP	
	4	受入	C1			水漏れ検査	水の汚染	水漏れ基準		4	3	12												PRP	
	5	受入	B4			品質検査	品質、入荷時温度	正確な温度	0-5℃	4	1	4												PRP	
	6	受入	F1			目視検査	異物、味	異物、味が無いこと		3	1	3												PRP	
	7	冷蔵保管	B5			温度記録	温度異常、細菌増殖	0-4℃		4	3	12												PRP	
	8	常温庫倉庫	Q1			SS	香料の品質劣化	香料保管25℃以下		3	1	3												PRP	
	9	冷蔵保管	B6			温度記録	温度異常、細菌増殖	0-4℃		4	1	4												PRP	
	10	包装	P2			SS	異物混入、温度上昇	入荷規定室温		4	2	8												PRP	
	11	計量	Q2			計量記録	計量間違い	正確な計量		3	2	6												PRP	
	12	計量	Q3			計量記録	計量間違い	正確な計量		3	3	9												PRP	
	13	計量	Q4			計量記録	計量間違い	正確な計量		3	3	9												PRP	
	14	計量	Q5			計量記録	計量間違い	正確な計量		4	3	12												PRP	
	15	細切・混合	B7			乳化温度	異物混入、乳化不良	入荷、異物混入、178/177		3	3	9												PRP	
	16	充填	B8			乳化温度	異物混入、乳化不良	入荷、異物混入、178/177		3	3	9												PRP	
	17	充填	B9			SS	異物混入、温度上昇	入荷、異物混入、室温		4	3	12												PRP	
	18	異物加熱	B9			SS	温度異常測定	温度異常		5	5	25												OPRP	
	19	シャワリング	B10			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP	
	20	冷却	B11			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP	
	21	小分け	B12			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP	
	22	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP	
	23	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP	
24	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
25	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
26	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
27	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
28	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
29	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
30	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
31	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
32	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
33	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
34	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
35	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
36	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
37	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
38	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
39	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
40	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
41	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
42	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
43	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
44	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
45	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
46	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
47	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
48	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
49	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
50	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
51	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
52	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
53	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
54	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
55	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
56	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
57	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
58	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
59	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
60	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
61	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
62	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
63	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
64	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
65	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
66	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
67	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
68	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
69	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
70	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
71	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
72	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
73	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
74	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
75	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
76	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
77	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
78	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
79	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
80	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
81	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16												OPRP		
82	リワーク	B13			SS、ATP検査	異物混入、細菌汚染	清掃洗浄消毒、清浄水		4	4	16														

「工程」図形に紐づいていない「危害」図形の情報

◆ 「ハザード管理プラン表」フォーマット

● 「ハザード管理プラン表」

「危害」図形の「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」で CCP または OPRP が設定されている工程のみを出力対象としています。

「工程」図形に紐づいていない危害が存在し、その設定が CCP または OPRP のときは、工程の後に出力されます。

※12-29 列目までのセルがグレーで表示されます。

【ヘッダー項目】

ブルー ：「工程」図形の情報が出力されます。

グリーン：「工程」図形に紐づく「危害」図形のモニタリング手順、許容限界逸脱時の対応情報が出力されます。

【管理手段】

CCP の場合 ： 背景がオレンジで出力されます。

OPRP の場合 ： 背景が黄色で出力されます。

【出力順】：工程ナンバー順、「危害」図形プリフィックス順

[illegible]

「工程」図形に紐づいていない「危害」図形の情報

「ハザード管理プラン単票」フォーマット

出力フォーマットで「ハザード管理プラン単票」を選択した場合、初期値では、2種類の帳票が作成されます。

● 「ハザード管理プラン単票(CCP)」

「危害」図形の「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」で CCP が設定されている工程のみを出力対象としています。

1つの工程に対応する1つの危害の情報をシート別に出力します。

「工程」図形に紐づかない危害が存在し、その設定が CCP のときは、工程部分が出力されません。

図形識別		01-01-01-01-10	
ハザード管理プラン(CCP)			
【文書情報】		名称	
会社・事業拠点	SPS食品		
事業	豚肉		
プロセス	肉		
サブプロセス	豚		
製品	ナチュラルウインナ		
【文書作成者情報・作成履歴】		1.0	
作成者	田中 二郎	作成日	2018/08/01
承認者	山田 国太郎	承認日	2018/08/01
最終更新者	田中 二郎	最終更新日	2018/08/10
工程番号	17		
工程名称	薫煙加熱		
ハザードNo	B9		
8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段	中心温度測定		
8.5.2.2.1 ハザードの特定	加熱温度不良		
8.5.2.4 管理手段	CCP		
8.5.4.2 許容限界の決定	加熱後72~78℃		
8.5.4.3 モニタリングシステム	a) 測定・観察	加熱後の中心温度・投入量を確認。中心温度計で最下段測定	
	b) 方法または機器	スモーカー温度計	
	c) 機器と方法の修正	温度計校正	
	d) 頻度	全ロット	
	e) 結果		
	f) 責任と権限	調理部長	
	g) 結果の評価に関する責任と権限		
8.5.4.4 許容限界逸脱時の対応	8.9.2 修正	CCPの許容限界を逸脱した場合またはOPRPの管理が機能した場合、影響を受けた製品が特定され、その使用及び出荷が管理されることを確実にする。次の事項を定めた文書化された手順を確立し、維持する。	
	8.9.3 是正	是正処置は許容限界を逸脱した場合、またはOPRPへの不適合がある場合に開始する。SPS食品は検出した不適合の原因を明確にし、除去し、再発を防止し、さらに不適合が発生した後に工程またはシステムを管理下に戻すための適切な処置を規定する“文書化された手順”を確立し、維持する。	
	8.9.4 製品が不適合からリリースできるのか	SPS食品は、次の事項を確実にすることができなければ、不適合製品がフードチェーンに入ることを防止するための処置を講じて、不適合製品を取り扱う。	
	8.9.4.2 リリースの場合	a) 対象となる食品安全ハザードが、規定の許容水準まで十分に低減されている、 不適合によって影響を受けた製品のそれぞれのロットは、次の条件のいずれかが当てはまった場合のみ、安全なものとしてリリースする、 a) モニタリングシステム以外の証拠が、管理手段が有効であったことを裏付けている、 評価の結果、製品のロットのリリースが認められない場合、その製品のロットは、次の作業の一つによって取り扱う、 a) 食品安全ハザードが除去されるか、または許容水準まで低減されることを確実にするための、	
	8.9.4.3 不適合の場合		

● 「ハザード管理プラン単票(OPRP)」

「危害」図形の「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」で OPRP が設定されている工程のみを出力対象としています。
1 つの工程に対応する 1 つの危害の情報をシート別に出力します。
「工程」図形に紐づかない危害が存在し、その設定が OPRP のときは、工程部分が出力されません。

図表識別		01-01-01-01-10	
ハザード管理プラン(OPRP)			
【文書情報】		名称	
会社・事業拠点	S P S 食品		
事業	豚肉		
プロセス	肉		
サブプロセス	豚		
製品	ナチュラルウィンナ		
【文書作成者情報・作成履歴】			
版数	1.0		
作成者	田中 二郎	作成日	2018/08/01
承認者	山田 健吾	承認日	2018/08/01
最終更新者	田中 二郎	最終更新日	2018/08/10
工程番号	18		
工程名称	シャウリング		
ハザードNo	B10		
8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段	SS, ATP検査		
8.5.2.2.1 ハザードの特定	異物混入 殺菌汚染		
8.5.2.4 管理手段	OPRP		
8.5.4.2 検査基準の決定	ATP熱値500以下		
8.5.4.3 モニタリング システム	a) 測定・観察	ATP測定器での測定	
	b) 方法または機器	ATP測定器	
	c) 機器と方法の校正	測定器動作確認	
	d) 頻度	毎朝	
	e) 結果		
	f) 責任と権限	管理部長	
	g) 結果の評価に関する責任と権限		
8.5.4.4 検査基準 逸脱時の 対応	8.9.2 修正		
	8.9.3 是正		
	8.9.4 製品が不適合か リリースできるかの 判断		
	8.9.4.2 リリースの場合		
	8.9.4.3 不適合の場合		

◆ 「検証プラン」フォーマット

● 「検証プラン」

「検証」図形に入力された情報をもとに出力されます。「検証」図形を複数使用した場合も 1 シートに出力されます。

図表識別		01-01-01-01-10					
会社・事業拠点		S P S 食品					
事業		豚肉					
プロセス		肉					
サブプロセス		豚					
製品		ナチュラルウィンナ					
検証 プラン							
検証の要求事項		図表識別	検証番号	方法	頻度	責任	記録
a) PRP が実施されていること		01-01-01-01-10	検証1	日常管理記録、月管理記録、業務レポートを「記録のマネジメントレビューシート」で検証する	毎月	トップマネジメント	記録検証シート
b) OPRP及びHACCPプランの要素が実施され、また効果的であること		01-01-01-01-10	検証1	管理記録、包装記録、日常管理記録を「記録のマネジメントレビューシート」で検証する	毎月	トップマネジメント	記録検証シート
c) 危害レベルが、明確にされた許容水準内にあること		01-01-01-01-10	検証1	毎週本曜日、管理部長で製品の細菌検査を行なう。 （かつ月毎の公的機関による製品細菌検査）	毎週 3か月毎	管理部	製品検査シート
d) ハザード分析へのインプットが継続的に更新されていること		01-01-01-01-10	検証1	・クレーム、問題等を危害分析に入れる ・新たな危害（新種のウィルスなど）が出た場合、必要性に応じて危害リストに入れる	その都度又は毎月更新	管理部	危害分析シート PDCA シート

◆ 「パターンマトリクス」フォーマット

● 「パターンマトリクス」

フローに登録されたパターンと含まれる工程のマトリクス表を出力します。

パターンの詳細については「パターン一覧」P59 をご参照ください。

会社・事業所	01	S P S食品
事業	01	鶏肉
プロセス	01	肉
サブプロセス	01	肉
製品	01	ナチュラルウインナ

パターンマトリクス

版数	1.0
作成者	田中 二郎
作成日	2018/06/01
承認者	山崎 隆幸
承認日	2018/06/01
最終更新者	田中 二郎
最終更新日	2018/06/10

工程				パターン		
図表識別	工程番号	工程名	手順	ハンバーグ	ミートボール	ビーマンの肉詰め
01-01-01-01-10	1	受入	管理担当者は原材料（豚肉）の受け入れを行う。	○	○	○
	2	受入	管理担当者は原材料（香料ミックス）の受け入れを行う。	○	○	○
	3	受入	管理担当者は原材料（米）の受け入れを行う。			○
	4	受入	管理担当者は原材料（辛味）の受け入れを行う。			
	5	受入	管理担当者は原材料（包材）の受け入れを行う。			
	6	冷蔵保管	管理担当者は原材料（豚肉）を荷台に載せた上で冷蔵庫へ運搬し、保管する。	○	○	
	7	常温庫倉庫	管理担当者は原材料（香料ミックス）を荷台に載せた上で倉庫へ運搬し、保管する。	○	○	○

◆ 「QC 工程表」フォーマット

● 「QC 工程表」

QC 活動を行うために「QC 工程表」を使って、作業工程に関する品質管理情報などを管理することができます。

管理工程と、工程に紐づけられている品質図形の内容を一覧で出力できます。

<table><tr><td>会社・事業所</td><td>01</td><td>S P S食品</td></tr><tr><td>事業</td><td>01</td><td>鶏肉</td></tr><tr><td>プロセス</td><td>01</td><td>肉</td></tr><tr><td>サブプロセス</td><td>01</td><td>肉</td></tr><tr><td>製品</td><td>01</td><td>ナチュラルウインナ</td></tr></table>			会社・事業所	01	S P S食品	事業	01	鶏肉	プロセス	01	肉	サブプロセス	01	肉	製品	01	ナチュラルウインナ	QC工程表			<table><tr><td>版数</td><td>1.0</td></tr><tr><td>作成者</td><td>田中 二郎</td></tr><tr><td>作成日</td><td>2018/06/01</td></tr><tr><td>承認者</td><td>山崎 隆幸</td></tr><tr><td>承認日</td><td>2018/06/01</td></tr><tr><td>最終更新者</td><td>田中 二郎</td></tr><tr><td>最終更新日</td><td>2018/06/10</td></tr></table>	版数	1.0	作成者	田中 二郎	作成日	2018/06/01	承認者	山崎 隆幸	承認日	2018/06/01	最終更新者	田中 二郎	最終更新日	2018/06/10
会社・事業所	01	S P S食品																																	
事業	01	鶏肉																																	
プロセス	01	肉																																	
サブプロセス	01	肉																																	
製品	01	ナチュラルウインナ																																	
版数	1.0																																		
作成者	田中 二郎																																		
作成日	2018/06/01																																		
承認者	山崎 隆幸																																		
承認日	2018/06/01																																		
最終更新者	田中 二郎																																		
最終更新日	2018/06/10																																		
図表識別	工程番号	工程名	担当者	分類	ハザードの特定	品質						記録	異常の処置	引用規格 関連文書	備考																				
						管理項目		管理方法																											
						管理特性	管理基準	測定方法	測定頻度	測定者	責任者																								
01-01-01-01-10	1	受入	管理部																																
01-01-01-01-10	2	受入	管理部																																
01-01-01-01-10	3	受入	管理部																																
01-01-01-01-10	4	受入	管理部																																
01-01-01-01-10	5	受入	管理部																																
01-01-01-01-10	6	冷蔵保管	管理部																																
01-01-01-01-10	7	常温庫保管	管理部	01	香料の品質変化	SS	香料保管10℃以下																												
01-01-01-01-10	8	冷蔵保管	管理部																																
01-01-01-01-10	9	原材料保管	管理部																																
01-01-01-01-10	10	梱包	管理部																																
01-01-01-01-10	11	計量	管理部	02	計量間違い	計量記録	正確な計量																												
01-01-01-01-10	12	計量	管理部	03	計量間違い	計量記録	正確な計量																												
01-01-01-01-10	13	計量	管理部	04	計量間違い	計量記録	正確な計量																												
01-01-01-01-10	14	計量	管理部	05	計量間違い	計量記録	正確な計量																												

9. 一括取込

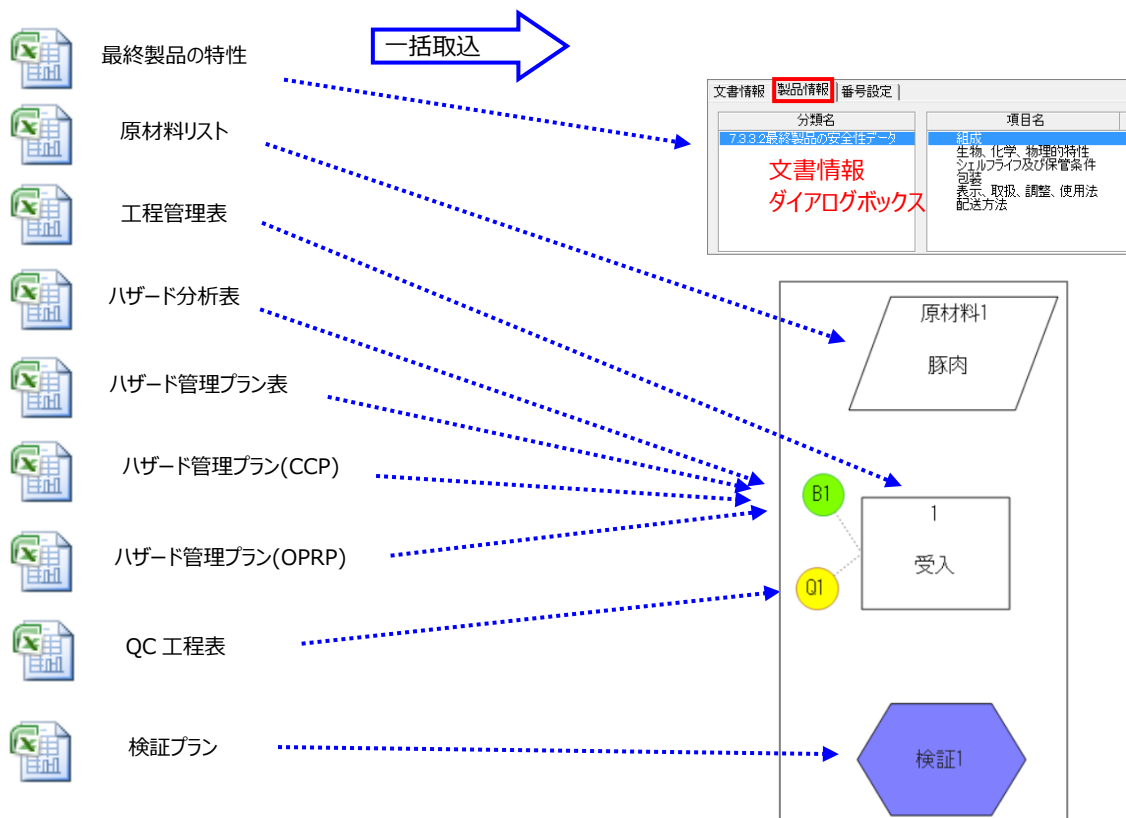
通常、HACCP 文書の変更は iGrafx FlowCharter 機能を利用して画面から行います。本機能を利用すると、変更内容を Excel に記述し、それをもとに HACCP クリエータで作成した文書を更新することができます。

9.1 利用イメージ

- ① 「出力帳票」機能で各帳票を出力する。
- ② 出力した帳票(Excel)を直接修正し、保存する。
- ③ 修正した帳票(Excel)を「一括取込」機能にてフローダイアグラムに取込む。

本機能は、各図形ダイアログボックスで入力される内容の更新を目的としています。図形そのものの追加や削除については、フローダイアグラム画面上で行うことを前提としています。※パターンマトリクスは一括取込の対象外です。

NO.	ファイル名（初期値）	帳票名	内容
1	製品の特性	最終製品の特性	文書情報ダイアログボックスの「製品情報」タブの情報を更新できます。
2		原材料リスト	「原材料」図形の情報を更新できます。
3	工程管理表	工程管理表	「工程」図形の情報を更新できます。
4	ハザード分析表	ハザード分析表	「危害」図形の「ハザード分析」情報を更新できます。
5	ハザード管理プラン表	ハザード管理プラン表	「危害」図形の「許容限界」「モニタリング手順」「許容限界逸脱時の対応」情報を更新できます。
6	ハザード管理プラン単票	ハザード管理プラン単票(CCP)	「管理手段の選択と分類」が「CCP」の「危害」図形で、「許容限界」「モニタリング手順」「許容限界逸脱時の対応」情報を更新できます。
7		ハザード管理プラン単票(OPRP)	「管理手段の選択と分類」が「OPRP」の「危害」図形で、「処置基準」「モニタリング手順」「処置基準逸脱時の対応」情報を更新できます。
8	検証プラン	検証プラン	「検証」図形の情報を更新できます。
9	QC 工程表	QC 工程表	「品質」図形の「管理方法」および「異常時の処置」情報を更新できます。（オプション機能）



9.2 事前準備（出力帳票の内容更新）

「帳票出力」機能で、各帳票を Excel に出力しておきます。取込対象となる項目を変更し、Excel に保存します。

※取り込み可能な項目とその形式については、「出力帳票項目」P71 の「取込対象」列をご参照ください。

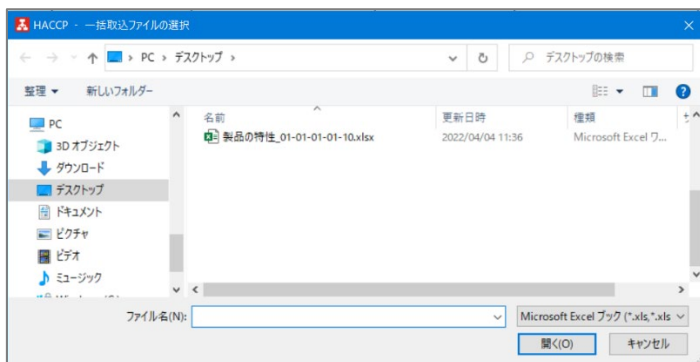


Excel 変更時の注意点

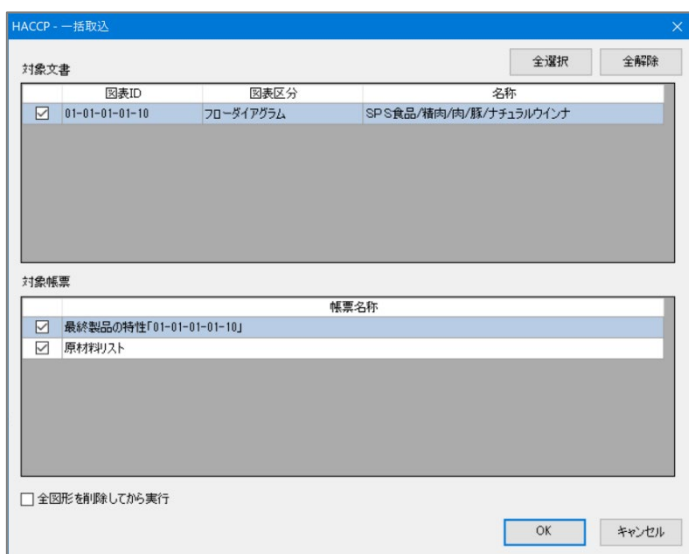
- ①「図表識別」を変更しないでください。
- ②「列」の追加・削除はしないでください。
- ③「シート」のコピーはしないでください。

9.3 「一括取込」手順

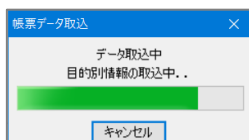
- ① 「HACCP」メニューより「一括取込」を選択すると、「一括取込ファイルの選択」ダイアログボックスが開きます。



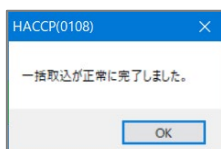
- ② 選択したファイルによって、対象帳票が異なります。取込対象となる帳票にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。
(初期値では、すべての帳票にチェックが入っています。)



- ③ 処理途中で、以下のメッセージが表示されます。

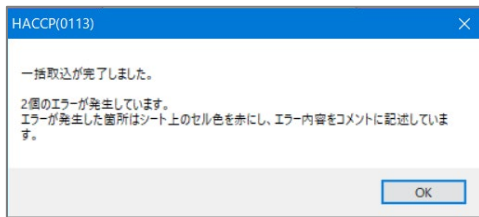


- ④ 処理が終了すると、「完了」メッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックして終了してください。



◆ エラーケース

一括取込の際、エラーが検出されたときは、以下のようなメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



取込元の帳票ファイルと同じ形式の「取込エラー」ファイルを自動的に開きます。

エラーが発生したセルが強調表示されますので、エラーが発生したセルにマウスポインタを重ねるとエラー内容がコメントに表示されます。

エラー内容を確認し、取込元の Excel 帳票を修正して保存してください。


図表識別	No	原材料番号	原材料名	生物・化学・物理的特性
01-01-01-01-10	原材料1	原材料A-1	豚肉	豚肉
01-01-01-01-10	原材料2	原材料B-1	旨味マツクス	塩、香辛料
01-01-01-01-10	原材料3	原材料C-1	水	水
01-01-01-01-10	原材料4	原材料A-2	羊腸	羊腸

取込元の帳票を修正後、「取込エラー」ファイルは不要となりますので閉じてください。

一括取込を再度実行してエラーが発生しないことを確認してください。

主なエラーは、以下の通りです。

NO	エラーメッセージ	該当エラーが表示されるケース
1	取込先の文書が開かれていない為、取込できません。	取込時に指定した Excel ブックの図表識別と、画面上で開いているファイルの図表識別に相違があると表示されます。
2	このデータは一度取り込まれた為、取り込まれません。 (Excel ブックに同一データが複数行存在しています。)	取込時に指定した Excel ブックに同一データが複数行存在すると表示されます。どちらの行を正しいデータとして取り込みするか判断できないためです。
3	[項目名]には、[桁数]以内の値を入力してください。	文字数の制限を超えている場合に表示されます。

 Excel は自由に変更できますので、必要情報が誤って削除されたり、行をコピーしたりすると思わぬエラーが表示されることがあります。Excel の修正作業は、行・セルの追加や削除をしないようにご注意ください。

10. 辞書機能

辞書データの作成は「HACCP クリエータ 管理者キット」を使用します。

詳細は「HACCP クリエータ 管理者キット ユーザーズガイド」をご参照ください。

10.1 辞書からの登録

辞書データから工程や危害情報を登録できます。

①「工程」図形または「危害」図形をダブルクリックしてダイアログボックスを表示し、「辞書」ボタンをクリックします。

HACCP - 工程

前工程

辞書グループID

登録番号

辞書

②「辞書データ一覧」画面が表示されますので、登録したいデータを選択し「OK」ボタンをクリックします。

HACCP - 辞書データ一覧

辞書グループID (全て)

辞書グループID

受入

保管

受入01

保管01

保管02

保管03

管理

5℃未満

OK

キャンセル

辞書グループIDで絞り込みができます。

③ 辞書データが反映されます。

HACCP - 工程

前工程

辞書グループID

登録番号

辞書

拡大

辞書グループIDと登録番号が自動反映されます。
※辞書反映機能で内容を上書きしない場合は
辞書グループIDと登録番号を削除してください。

10.2 辞書反映

辞書登録されている登録番号から、新しい辞書内容で各項目をまとめて更新します。
「辞書反映」を実行することで、登録内容を統一し変更作業の省力化ができます。

1) 辞書の反映方法

①「HACCP」メニューより「辞書反映」を選択すると処理時間を承認するダイアログボックスが表示されます。「はい」をクリックすると反映処理が開始されます。

HACCP(0043)

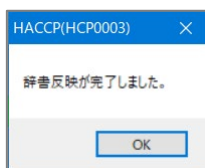
?

処理が完了するまで時間がかかる場合があります。実行しますか？

はい(Y)

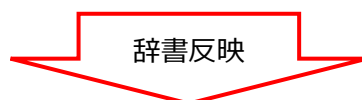
いいえ(N)

② 処理が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



③ 更新した辞書データが反映されていることを確認します。

項目名	項目値
担当者	資材部担当者
管理項目	
管理基準	
測定方法	
要求事項	
記録	
検証	



項目名	項目値
担当者	資材管理部担当者
管理項目	
管理基準	
測定方法	
要求事項	
記録	
検証	

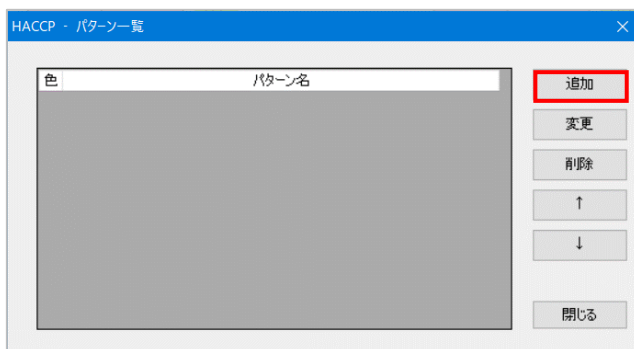
 辞書反映後は反映前の状態に戻すことはできません。

11. パターン一覧

一つの製造工程で複数の製品を製造している場合について、1つのフローダイアグラムに製品ごとに工程パターン名を設定することができます。

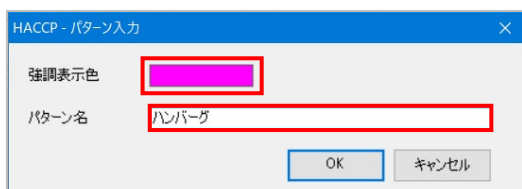
11.1 パターンの作成方法

- ①「HACCP」メニューより「パターン一覧」を選択し、ダイアログボックスを表示して「追加」ボタンをクリックします。



- ②「パターン名入力」ダイアログボックスが表示されますのでパターン名を登録します。

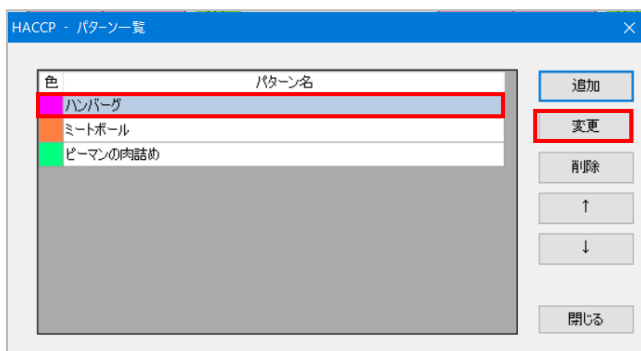
「強調表示色」をクリックすると、強調表示する際の色を変更できます。



11.2 パターン名の変更方法

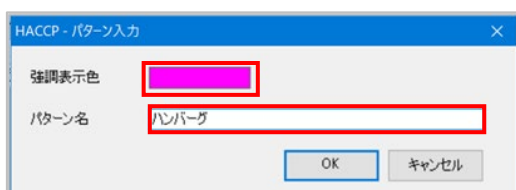
- ①「HACCP」メニューより「パターン一覧」を選択し、ダイアログボックスを表示します。

変更するパターン名を選択し、「変更」ボタンをクリックします。



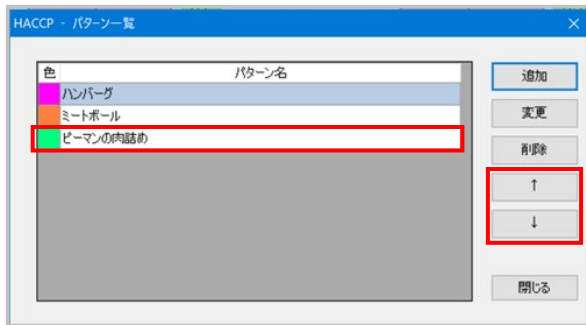
- ②「パターン名入力」ダイアログボックスが表示されますので、パターン名を編集します。


「強調表示色」をクリックすると、強調表示する際の色を変更できます。



11.3 パターンの並び替え

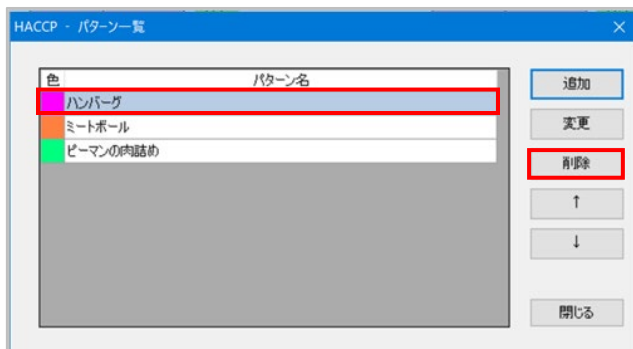
- ① 「HACCP」メニューより「パターン一覧」を選択し、ダイアログボックスを表示します。
- ② 並べ替えたいパターンを選択し「↑」または「↓」をクリックして並べ替えます。



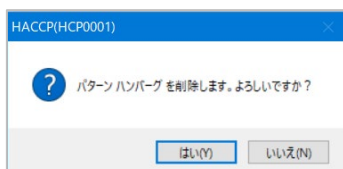
-  パターン一覧で変更した並び順は、以下の箇所に反映されます。
- ・パターン別ライン設定画面のパターンプルダウン
 - ・パターン強調表示画面のパターン一覧
 - ・右クリックメニューパターンライン一括登録画面のパターンプルダウン
 - ・帳票出力画面のパターン一覧

11.4 パターンの削除方法

- ① 「HACCP」メニューより「パターン一覧」を選択し、ダイアログボックスを表示します。
削除するパターン名を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



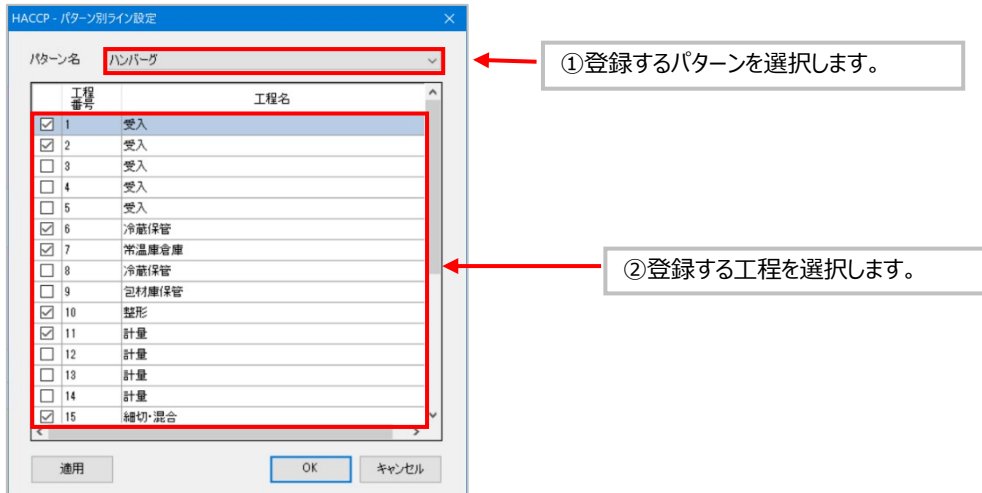
- ② 確認ダイアログボックスが表示され、「はい」ボタンをクリックすると、対象パターンが削除されます。



-  パターンを削除しても、パターン名に紐ついた工程が削除されることはありません。

12. パターン別ライン設定

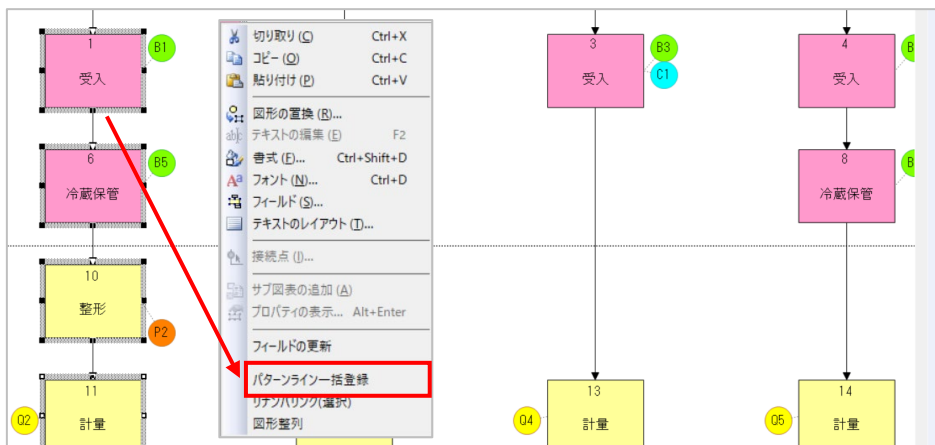
- ① 「HACCP」メニューより「パターン別ライン設定」を選択し、ダイアログボックスを表示します。
- ② 登録対象のパターンを選択し、登録します。



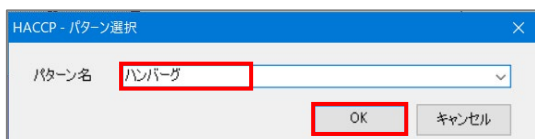
13. パターンライン一括登録

iGrafx 上で図形をまとめて選択し、パターン登録を行います。

- ① 対象となる図形を選択した状態で右クリックし、メニューの「パターンライン一括登録」をクリックします。



- ② 「パターン選択」ダイアログボックスが表示されます。新しいパターン名を入力するか、既に登録されているパターン名を選択し、OK ボタンをクリックします。

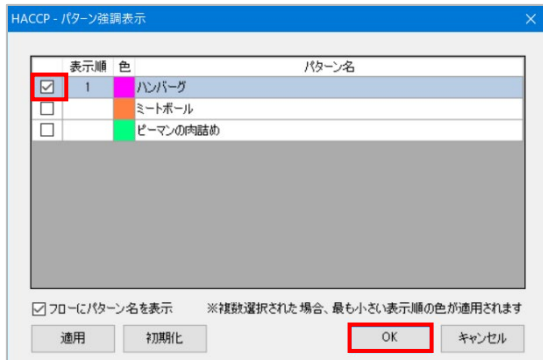


- 登録されたパターンは HACCP メニューの「パターン別ライン設定」で確認できます。
- 新しいパターンを追加した場合は、デフォルトの強調表示色（ピンク）になります。変更したい場合は「パターン一覧」より変更します。

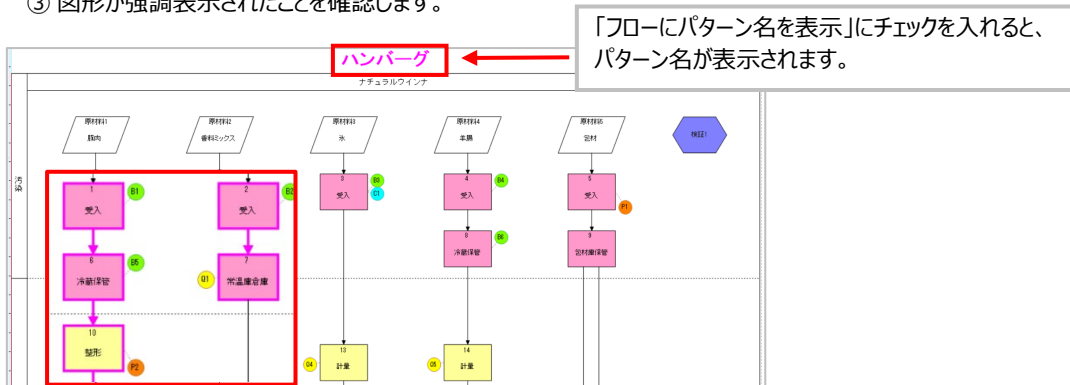
14. パターン強調表示

「HACCP」メニューの「パターン一覧」、「パターン別ライン設定」で登録したパターン名を選択すると、iGrafx 上の図形が強調表示されます。

- ① 「HACCP」メニューより「パターン強調表示」を選択すると、「パターン強調表示」ダイアログボックスが表示されます。
- ② 強調表示したいパターン名のチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。

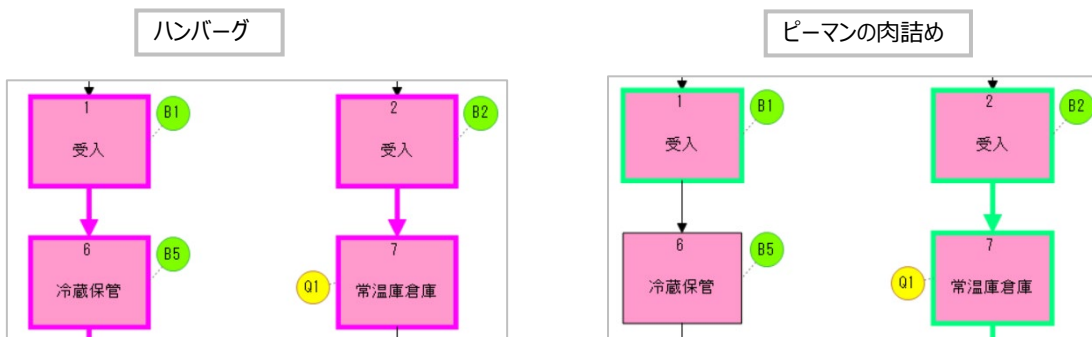


- ③ 図形が強調表示されたことを確認します。

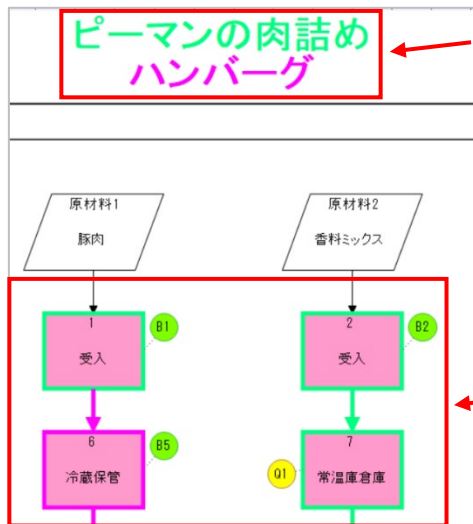


14.1 パターン強調表示（複数選択）

複数のパターンを強調表示できます。同時に強調表示できるのは5つまでです。



同時に強調表示した場合



表示順の順番で表示されます。

HACCP - パターン強調表示

表示順	色	パターン名
<input checked="" type="checkbox"/>	2	ハンバーグ
<input type="checkbox"/>		ミートボール
<input checked="" type="checkbox"/>	1	ピーマンの肉詰め

同じ図形が複数のパターンに登録されている場合は、表示順の数字が最も小さいパターンが優先して表示されます。

☒ フローにパターン名を表示 ※複数選択された場合、最も小さい表示順の色が適用されます

適用 初期化 OK キャンセル

14.2 パターン強調表示の解除

- ① 「HACCP」メニューより「パターン強調表示」を選択すると、「パターン強調表示」ダイアログボックスが表示されます。
- ② 強調表示を解除したいパターン名のチェックを外すか、「初期化」ボタンを選択して「OK」ボタンをクリックします。

HACCP - パターン強調表示

表示順	色	パターン名
<input type="checkbox"/>		ハンバーグ
<input type="checkbox"/>		ミートボール
<input type="checkbox"/>		ピーマンの肉詰め

☐ フローにパターン名を表示 ※複数選択された場合、最も小さい表示順の色が適用されます

適用 初期化 OK キャンセル

14.3 パターン強調表示中に工程を追加する場合の注意事項

新たに工程を追加する場合は強調表示を解除してから実施してください。

15. パターン別帳票出力

パターンを指定して帳票を出力することができます。
作成される Excel ファイルには、「パターン名」が付加されます。
例：工程管理表_01-01-01-01-10_ハンバーグ.xlsx

パターン名: ハンバーグ

出力条件

図形種別:

項目名: 項目値:

出力ファイル

☒ C:\Users\%Desktop%\工程管理表_01-01-01-01-10_ハンバーグ.xlsx 参照

☐ 自動保存しない

OK キャンセル

16. バージョン情報

このダイアログボックスでは、バージョン情報の確認と配布ファイルの取込ができます。
「HACCP」メニューより「バージョン情報」を選択すると、「バージョン情報」ダイアログボックスが表示されます。

16.1 バージョン情報の表示

バージョン情報を確認できます。※ヘルプデスクへのお問い合わせの際に、バージョンについて確認いただくことがあります。



16.2 配布ファイルの取込

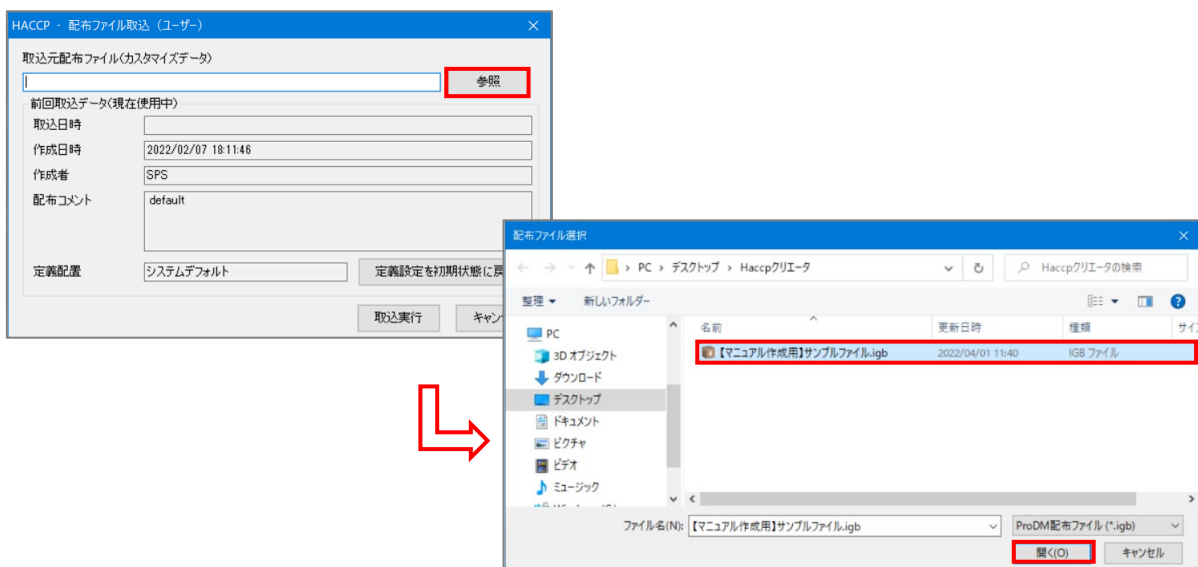
HACCP クリエータ 管理者キットにて作成した配布ファイル(拡張子.igb)を取り込むことができます。

1) 配布ファイルとは

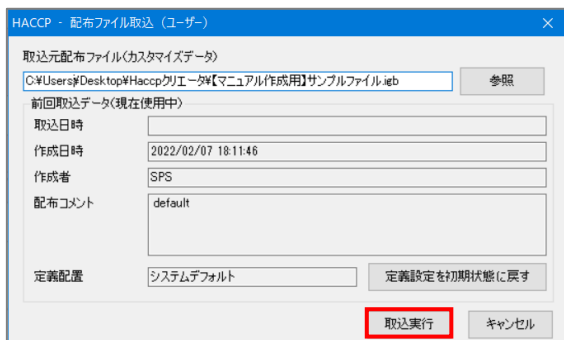
配布ファイルとは、入力画面の項目や出力帳票(Excel ファイル)などをカスタマイズした定義情報データファイルです。配布ファイルは、「HACCP クリエータ 管理者キット」をインストールして作成します。
詳細は「HACCP クリエータ 管理者キット ユーザーズガイド」をご参照ください。

2) 配布ファイルの取込手順

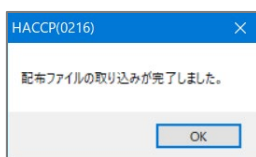
- ① 「HACCP」メニューより「バージョン情報」をクリックします。
- ② 「バージョン情報」ダイアログボックスが表示されますので「配布ファイル取込」ボタンをクリックします。
- ③ 「配布ファイル取込(ユーザー)」ダイアログボックスが表示されますので「参照」ボタンをクリックし、配布ファイル（拡張子.igb）を指定します。



④「取込実行」ボタンをクリックします。

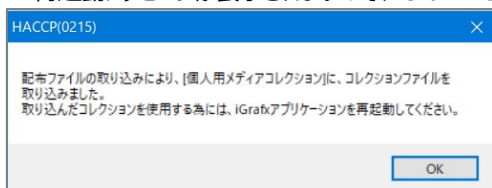


⑤ 取込完了メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

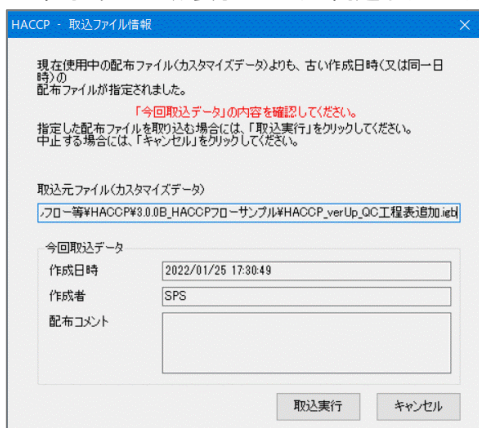


◆ 配布ファイルに自社用図形集が同梱されている場合

再起動メッセージが表示されますので、iGrafxFlowCharter を閉じて、開き直します。

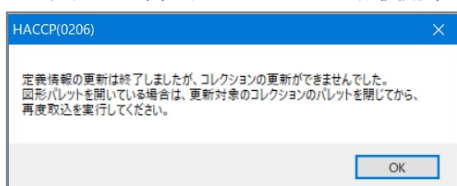


◆ 取り込み指定した配布ファイルの作成日付が既に使用中のものより古いまたは同一の日付の場合
確認メッセージが表示されます。問題なければ、そのまま実行してください。

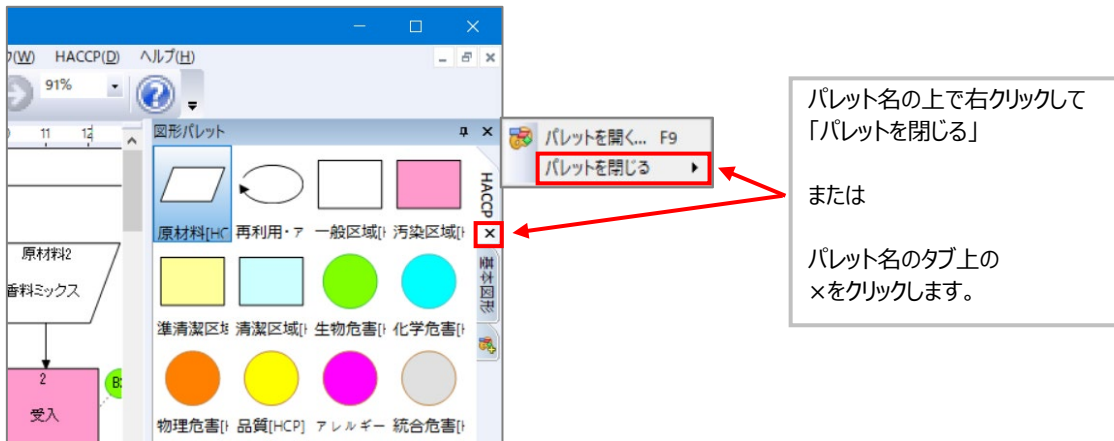


◆ 既に図形パレットにあるコレクションと同名のコレクションが配布ファイルに添付されていた場合

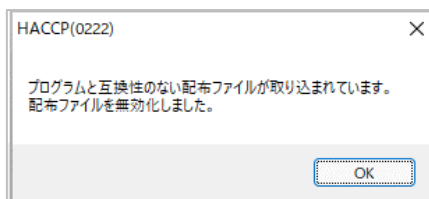
ファイルを上書きします。コレクションが使用中の場合（図形パレットに開かれていた場合）は、エラーメッセージが表示されます。



コレクションの更新が必要な場合は、すべての文書を閉じ、図形パレットウィンドウに開かれているパレットも閉じて、再度取り込みをしてください。
 取り込みたいパレットと同名のパレットを開いている場合は、パレット名の上で右クリックし、メニューよりパレットを閉じるか、パレット名のタブ上の×をクリックします。



- ◆ 前のバージョンで作成した配布ファイルを取込んだ状態で HACCP クリエータをバージョンアップした場合
 以下のようなメッセージが表示されますので、使用中の配布ファイルを管理者キットで取込み、新規の配布ファイルを作成してください。
 配布ファイルの取込・作成方法の詳細については、「HACCP クリエータ管理者キット ユーザーズガイド」をご参照ください。

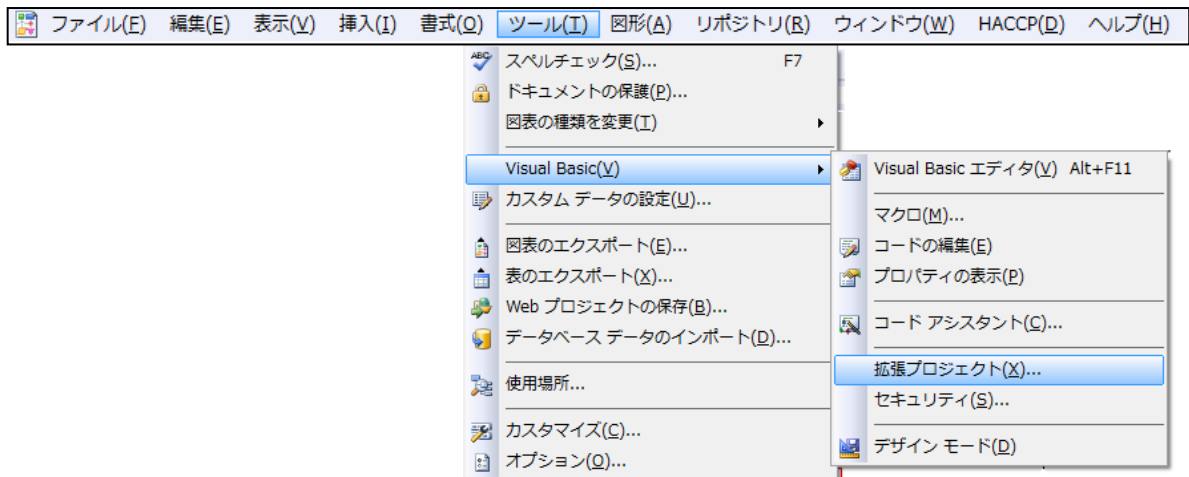


第5章 付録

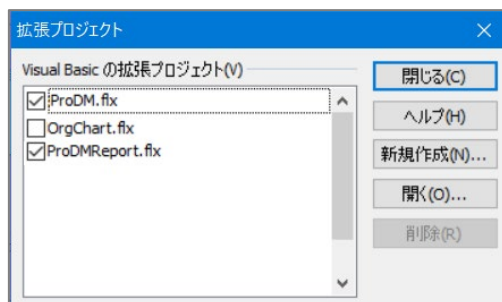
1. HACCP アドオンを一時的に無効にする

HACCP クリエータは、iGrafx のメニューバーに HACCP メニューを追加しています。
一時的に HACCP クリエータを使用したくないときは、アドオン機能をオフにすることができます。

- ① 「ツール」メニューの「Visual Basic」をクリックし、サブメニューの中から「拡張プロジェクト」を選択します。



- ② 「拡張プロジェクト」ダイアログボックスが開きます。



- ③ HACCP の機能をオフにするには、「ProDM.flx」「ProDMReport.flx」についているチェックを外してください。

機能がオフになった場合、メニューバーから「HACCP」メニューの表示が消えます。

 再び機能をオンにするには、「ProDM.flx」「ProDMReport.flx」チェックを入れてご利用ください。
なおチェックが外れているときに HACCP 図形を配置しても、ナンバーなどは表示されません。

2. HACCP 図形集について


HACCP クリエータでは、フローダイアグラムを作成するための専用図形を準備しています。専用図形は、HACCP クリエータ のインストール時にパブリックメディアコレクションに保存されます。

「HACCP」コレクションには、「HACCP」「HACCP ヘッダー」という 2 つのサブジェクトが含まれています。

2.1 【HACCP】サブジェクト



HACCP クリエータで利用できる図形には名称がつけられていて、その名称によって用途が異なります。




	図形	図形名 (図形の種類)	用途
原材料		原材料[HCP] (図形)	原材料を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、原材料の安全性データを登録できます。
工程		一般区域[HCP] (図形)	一般区域での工程を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、工程の詳細を登録できます。
	 黄色	準清潔区域[HCP] (図形)	準清潔区域での工程を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、工程の詳細を登録できます。
	 水色	清潔区域[HCP] (図形)	清潔区域での工程を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、工程の詳細を登録できます。
	 ピンク	汚染区域[HCP] (図形)	汚染区域での工程を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、工程の詳細を登録できます。
		再利用・アウトソース [HCP](図形)	再利用・アウトソースの工程を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、工程の詳細を登録できます。
危害	 緑	生物危害[HCP] (グラフィック図形)	生物の危害が想定される場合に、「工程」図形に紐付けて利用します。 プロパティダイアログボックスで、ハザード分析情報などを登録できます。
	 青	化学危害[HCP] (グラフィック図形)	化学の危害が想定される場合に、「工程」図形に紐付けて利用します。 プロパティダイアログボックスで、ハザード分析情報などを登録できます。
	 オレンジ	物理危害[HCP] (グラフィック図形)	物理の危害が想定される場合に、「工程」図形に紐付けて利用します。 プロパティダイアログボックスで、ハザード分析情報などを登録できます。
	 黄色	品質[HCP] (グラフィック図形)	品質の危害が想定される場合に、「工程」図形に紐付けて利用します。 プロパティダイアログボックスで、ハザード分析情報などを登録できます。
	 灰色	統合危害[HCP] (グラフィック図形)	統合の危害が想定される場合に、「工程」図形に紐付けて利用します。 プロパティダイアログボックスで、ハザード分析情報などを登録できます。
	 ピンク	アレルギー危害[HCP] (グラフィック図形)	アレルギーの危害が想定される場合に、「工程」図形に紐付けて利用します。 プロパティダイアログボックスで、ハザード分析情報などを登録できます。
廃棄物		廃棄物 (図形)	廃棄物を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスでの登録項目は有りません。
接続		接続 (図形)	他プロセスへの接続を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスでの登録項目は有りません。

	図形	図形名 (図形の種類)	用途
検証		検証[HCP] (図形)	全体の検証を表現するときに利用します。 プロパティダイアログボックスで、検証の情報を登録できます。

2.2 【HACCPヘッダー】サブジェクト

本サブジェクトの図形は、「文書情報」ダイアログボックスで入力した内容を表示させるための図形です。
HACCP フローテンプレートでは、「マスターページ」に配置されています。

	図形	図形名	用途
基本情報		会社・事業拠点 ID[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した会社・事業拠点 ID をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		会社・事業拠点 [HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した会社・事業拠点をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		住所[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した住所をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		事業 ID[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した事業 ID をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		事業[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した事業をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		プロセス ID[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力したプロセス ID をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		プロセス名称[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力したプロセス名称をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		サブプロセス ID[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力したサブプロセス ID をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		サブプロセス名称 [HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力したサブプロセス名称をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		製品 ID[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した製品 ID をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
履歴情報		製品[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した製品名称をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		版数[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した版数をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		作成者[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した作成者をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		作成日[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した作成日をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		承認者[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した承認者をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。

	図形	図形名	用途
		承認日[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した承認日をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		最終更新者[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した更新者をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。
		最終更新日[HCP] (グラフィック図形)	文書情報に入力した更新日をフローダイアグラム上に表示させるために配置する図形です。

3. 出力帳票項目

3.1 「製品の特性」フォーマット

1) 「最終製品の特性」

本シートに記載された情報は、文書情報ダイアログボックスの該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名	入力内容	取込対象
1	図表識別	—	×
2	会社・事業拠点 ID	任意の文章 「4 字」	○
3	会社・事業拠点名称	任意の文章 「20 字」	○
4	事業 ID	任意の文章 「4 字」	○
5	事業名称	任意の文章 「20 字」	○
6	プロセス ID	任意の文章 「4 字」	○
7	プロセス名称	任意の文章 「20 字」	○
8	サブプロセス ID	任意の文章 「4 字」	○
9	サブプロセス名称	任意の文章 「20 字」	○
1 0	製品 ID	任意の文章 「4 字」	○
1 1	製品名称	任意の文章 「20 字」	○
1 2	組成	任意の文章 「1000 字」	○
1 3	生物,化学,物理的特性	任意の文章 「1000 字」	○
1 4	シェルフライフ及び保管条件	任意の文章 「1000 字」	○
1 5	包装	任意の文章 「1000 字」	○
1 6	表示,取り扱い,調整,使用法	任意の文章 「1000 字」	○
1 7	配送方法	任意の文章 「1000 字」	○
1 8	意図した用途	任意の文章 「1000 字」	○
1 9	版数	任意の文章 「10 字」	○
2 0	作成者	任意の文章 「10 字」	○
2 1	作成日	任意の文章 「10 字」	○
2 2	最終更新者	任意の文章 「10 字」	○
2 3	最終更新日	任意の文章 「10 字」	○

NO.	項目名	入力内容	取込対象
2 4	承認者	任意の文章 「10 字」	○
2 5	承認日	任意の文章 「10 字」	○

2) 「原材料リスト」

本シートに記載された情報は、「原材料」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名	入力内容	取込対象
1	図表識別	—	×
2	No	—	×
3	原材料名	任意の文章 「30 字」	○
4	辞書グループ ID	—	○
5	登録番号	—	○
6	生物,化学,物理的特性	任意の文章 「500 字」	○
7	配合材料と添加物の組成	任意の文章 「500 字」	○
8	由来	任意の文章 「500 字」	○
9	原産地	任意の文章 「500 字」	○
1 0	製造方法	任意の文章 「500 字」	○
1 1	包装及び配送方法	任意の文章 「500 字」	○
1 2	保管条件及びシェルフライフ	任意の文章 「500 字」	○
1 3	使用又は加工前の準備及び又は取り扱い	任意の文章 「500 字」	○
1 4	合否判定基準又は仕様書	任意の文章 「500 字」	○

3.2 「工程管理表」フォーマット

1) 「工程管理表」

本シートに記載された情報は、「工程」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名	入力内容	取込対象
1	図表識別	—	×
2	工程番号	—	×
3	工程名	任意の文章 「30 字」	○
4	手順	任意の文章 「2048 字」	○
5	担当者	任意の文章 「800 字」	○
6	管理項目	任意の文章 「800 字」	○
7	管理基準	任意の文章 「800 字」	○
8	測定方法	任意の文章 「800 字」	○
9	要求事項	任意の文章 「800 字」	○

NO.	項目名	入力内容	取込対象
1 0	記録	任意の文章 「800 字」	○
1 1	検証	任意の文章 「800 字」	○
1 2	備考	任意の文章 「800 字」	○

3.3 「ハザード分析表」フォーマット

1) 「ハザード分析表」

本シートに記載された情報は、「危害」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名		入力内容	取込対象
1	図表識別		－	×
2	工程番号		－	×
3	工程名		任意の文章 「30 字」	○
4	分類		－	×
5	辞書グループ ID		－	○
6	登録番号		－	○
7	8.5.1.5.3 現存の管理手段		任意の文章 「500 字」	○
8	8.5.2.2.1 ハザードの特定		任意の文章 「2048 字」	○
9	8.5.2.2.3 許容水準		任意の文章 「500 字」	○
1 0	8.5.2.3 ハザード評価	発生頻度	1・2・3・4・5・スペース	○
1 1		重篤度	1・2・3・4・5・スペース	○
1 2		評価値	－	×
1 3		その他	任意の文章 「100 字」	○
1 4	8.5.2.4.1 管理手段の評価	b-4	→・スペース	○
1 5		a	→・スペース	○
1 6		b	→・スペース	○
1 7		b-1	→・スペース	○
1 8		b-2	→・スペース	○
1 9		b-3	→・スペース	○
2 0	8.5.2.4.2 管理手段の可能性評価	a	→・スペース	○
2 1		b	→・スペース	○
2 2		c	→・スペース	○
2 3	8.5.2.4 管理手段の選択と分類		OPRP・CCP・PRP	○

3.4「ハザード管理プラン表」フォーマット

1)「ハザード管理プラン表」

本シートに記載された情報は、「危害」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名	入力内容	取込対象
1	図表識別	—	×
2	工程番号	—	×
3	工程名	—	×
4	分類	—	×
5	辞書グループ ID	—	○
6	登録番号	—	○
7	8.5.1.5.3 現存の管理手段	任意の文章 「500 字」	○
8	8.5.2.2.1 ハザードの特定	任意の文章 「2048 字」	○
9	8.5.2.4 管理手段の選択と分類	OPRP・CCP・PRP	○
10	8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定	任意の文章 「500 字」	○
11	8.5.4.3 モニタリング システム	a)測定・観察	任意の文章 「300 字」
12		b)方法または機器	任意の文章 「300 字」
13		c)機器と方法の校正	任意の文章 「300 字」
14		d)頻度	任意の文章 「300 字」
15		e)結果	任意の文章 「300 字」
16		f)責任と権限	任意の文章 「300 字」
17		g)結果の評価に関する責任と権限	任意の文章 「300 字」
18	8.5.4.4 許容限界及び処置基 準逸脱時の 対応	8.9.2 修正	任意の文章 「800 字」
19		8.9.3 是正	任意の文章 「800 字」
20		8.9.4 製品が不適合か リリースできるのか	任意の文章 「800 字」
21		8.9.4.2 リリースの場合	任意の文章 「800 字」
22		8.9.4.3 不適合の場合	任意の文章 「800 字」

3.5「ハザード管理プラン単票」フォーマット

1)「ハザード管理プラン(CCP)」

本シートに記載された情報は、ハザード No の「危害」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名	入力内容	取込対象
1	図表識別	—	×
2	工程番号	—	×
3	工程名称	—	○

NO.	項目名		入力内容	取込対象
4	ハザード No		－	○
5	8.5.1.5.3 現存の管理手段		任意の文章 「500 字」	○
6	8.5.2.2.1 ハザードの特定		任意の文章 「2048 字」	○
7	8.5.2.4 管理手段		CCP	○
8	8.5.4.2 許容限界の決定		任意の文章 「500 字」	○
9	8.5.4.3 モニタリング システム	a)測定・観察	任意の文章 「300 字」	○
10		b)方法または機器	任意の文章 「300 字」	○
11		c)機器と方法の校正	任意の文章 「300 字」	○
12		d)頻度	任意の文章 「300 字」	○
13		e)結果	任意の文章 「300 字」	○
14		f)責任と権限	任意の文章 「300 字」	○
15		g)結果の評価に関する責任と権限	任意の文章 「300 字」	○
16	8.5.4.4 許容限界逸脱時の 対応	8.9.2 修正	任意の文章 「800 字」	○
17		8.9.3 是正	任意の文章 「800 字」	○
18		8.9.4 製品が不適合か リリースできるのか	任意の文章 「800 字」	○
19		8.9.4.2 リリースの場合	任意の文章 「800 字」	○
20		8.9.4.3 不適合の場合	任意の文章 「800 字」	○

2) 「ハザード管理プラン(OPRP)」

本シートに記載された情報は、ハザード No の「危害」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名		入力内容	取込対象
1	図表識別		－	×
2	工程番号		－	×
3	工程名称		－	○
4	ハザード No		－	○
5	8.5.1.5.3 現存の管理手段		任意の文章 「500 字」	○
6	8.5.2.2.1 ハザードの特定		任意の文章 「2048 字」	○
7	8.5.2.4 管理手段		OPRP	○
8	8.5.4.2 処置基準の決定		任意の文章 「500 字」	○
9	8.5.4.3 モニタリング システム	a)測定・観察	任意の文章 「300 字」	○
10		b)方法または機器	任意の文章 「300 字」	○
11		c)機器と方法の校正	任意の文章 「300 字」	○
12		d)頻度	任意の文章 「300 字」	○
13		e)結果	任意の文章 「300 字」	○
14		f)責任と権限	任意の文章 「300 字」	○
15		g)結果の評価に関する責任と権限	任意の文章 「300 字」	○

NO.	項目名	入力内容	取込対象
16	8.5.4.4 処置基準逸脱時の 対応	8.9.2 修正	任意の文章 「800 字」 ○
17		8.9.3 是正	任意の文章 「800 字」 ○
18		8.9.4 製品が不適合か リリースできるのか	任意の文章 「800 字」 ○
19		8.9.4.2 リリースの場合	任意の文章 「800 字」 ○
20		8.9.4.3 不適合の場合	任意の文章 「800 字」 ○

3.6 「検証プラン」フォーマット

1) 「検証プラン」

本シートに記載された情報は、「検証」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名	項目名	入力内容	取込対象
1	a) PRP が実施されていること	図表識別	－	×
		検証番号	－	×
		方法	任意の文章 「500 字」	○
		頻度	任意の文章 「500 字」	○
		責任	任意の文章 「500 字」	○
		記録	任意の文章 「500 字」	○
2	b) OPRP 及び HACCP プランの要素が 実施され、また効果的であること	図表識別	－	×
		検証番号	－	×
		方法	任意の文章 「500 字」	○
		頻度	任意の文章 「500 字」	○
		責任	任意の文章 「500 字」	○
		記録	任意の文章 「500 字」	○
3	c) 危害レベルが、明確にされた許容水 準内にあること	図表識別	－	×
		検証番号	－	×
		方法	任意の文章 「500 字」	○
		頻度	任意の文章 「500 字」	○
		責任	任意の文章 「500 字」	○
		記録	任意の文章 「500 字」	○
4	d) ハザード分析へのインプットが継続的 に更新されていること	図表識別	－	×
		検証番号	－	×
		方法	任意の文章 「500 字」	○
		頻度	任意の文章 「500 字」	○
		責任	任意の文章 「500 字」	○
		記録	任意の文章 「500 字」	○
5	e) 組織が要求するその他の手順が実施 され、また効果的である	図表識別	－	×
		検証番号	－	×

NO.	項目名	項目名	入力内容	取込対象
		方法	任意の文章 「500 字」	○
		頻度	任意の文章 「500 字」	○
		責任	任意の文章 「500 字」	○
		記録	任意の文章 「500 字」	○
6	※クリーム・回収	図表識別	－	×
		検証番号	－	×
		方法	任意の文章 「500 字」	○
		頻度	任意の文章 「500 字」	○
		責任	任意の文章 「500 字」	○
		記録	任意の文章 「500 字」	○

3.7 「QC工程表」フォーマット

1) 「QC 工程表」

本シートに記載された情報は、「品質」図形の該当箇所に更新されます。

取込対象が「×」の項目に関しては、Excel シートに記述した内容が無視されます。

NO.	項目名		入力内容	取込対象
1	図表識別		－	×
2	工程番号		－	×
3	工程名		任意の文章 「30 字」	○
4	担当者		－	×
5	品質	分類	－	×
6		ハザードの特定	任意の文章 2048 字	○
7		管理項目	管理特性	○
8			管理基準	○
9		管理方法	測定方法	任意の文章 「300 字」
10			測定頻度	任意の文章 「300 字」
11			測定者	任意の文章 「300 字」
12			責任者	任意の文章 「300 字」
13		記録	任意の文章 「300 字」	○
14		異常時の処置	任意の文章 「800 字」	○
15		引用規格 関連文書	任意の文章 「300 字」	○
16		備考	任意の文章 「300 字」	○



SPS